

2024年3月期

決算補足説明資料

2024年4月25日

SBテクノロジー株式会社

証券コード 4726

1. 業績概況	P. 2
2. 中期経営計画の進捗	P. 9
3. 決算添付資料	P. 18
4. 会社情報	P. 32

業績概況

SB Technology

FY23
通期業績

通信の投資抑制やフォントワークスの連結除外により売上高は減収
採用強化等により販管費が増加するも、営業利益率は継続して改善

受注
状況

公共における複数年分の運用案件受注の反動減や、通信の投資抑制
影響により、受注/受注残高はともに前期を下回る結果

FY24
見通し

2025年3月期 売上高 695億円 / 営業利益 57億円

前期下期以降連結除外されたフォントワークスの影響を除くと

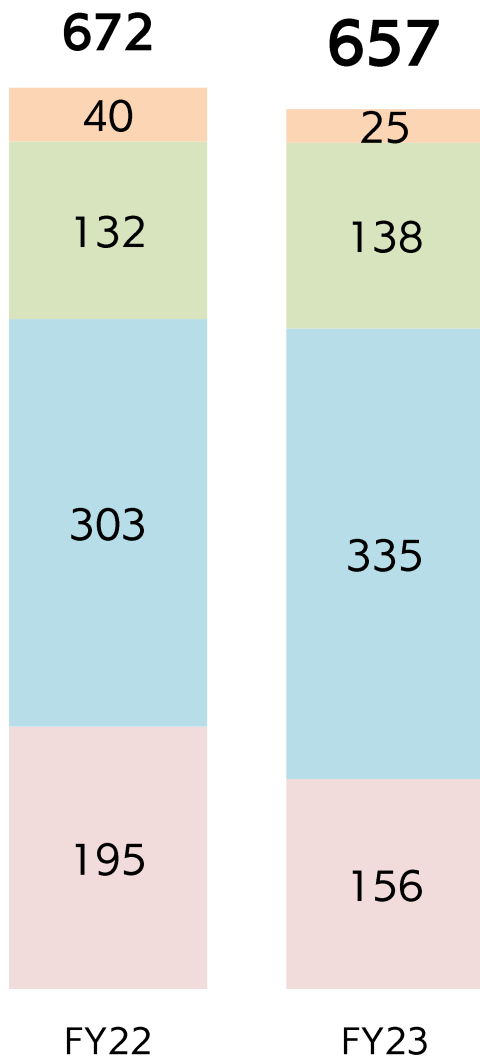
売上高+8%増収、営業利益+6%増益

- 通信の投資抑制やフォントワークスの連結除外により減収、収益性は改善し営業利益増益
- フォントワークスの株式等譲渡に伴う費用や売却益を計上し、純利益は48億円の増益

	百万円 (利益率)	FY23	FY22	増減額	増減率
売上高		65,704	67,227	▲1,523	▲2.3%
営業利益		過去最高 5,699 (8.7%)	5,557 (8.3%)	+141	+2.6%
経常利益		5,473 (8.3%)	5,499 (8.2%)	▲25	▲0.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益		過去最高 8,363 (12.7%)	3,497 (5.2%)	+4,866	+139.2%
EBITDA ※		過去最高 7,316	7,217	+98	+1.4%

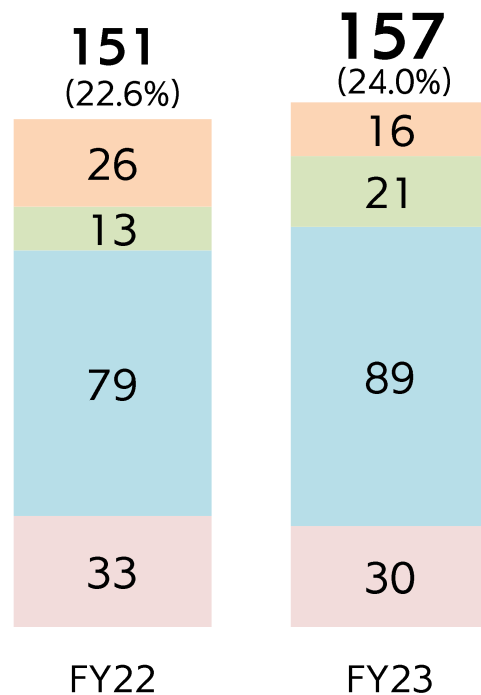
※EBITDA=営業利益+のれん償却額(販管費)+減価償却費

売上高



売上総利益

億円
(利益率)



個人： 減収・減益

- ノートンライフロックとの契約変更、及びフロントワークスが連結から除外されたことによる影響

公共： 増収・増益

- 農林水産省が掲げるDX戦略案件が増加
- 自治体情報SC※1等の運用案件が順調に進捗し増益

エンタープライズ： 増収・増益

- 注力顧客向けクラウド案件が堅調に推移
- MSS※2の売上高はYoY1.5倍の成長を継続

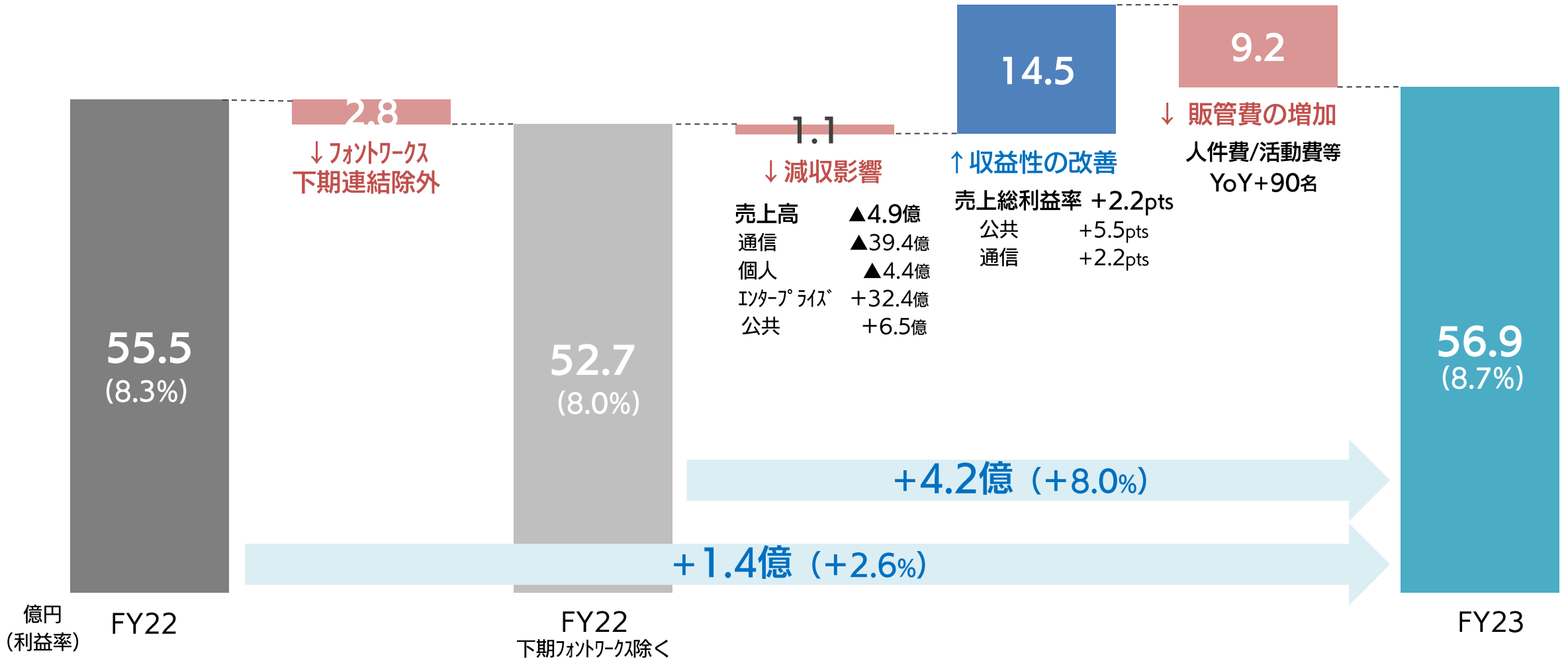
通信： 減収・減益

- ベンダーマネジメント案件の減少や投資抑制影響により減収・減益したものの、システム開発の効率化や売上高構成比の変化により利益率は改善

※1：セキュリティクラウドの略

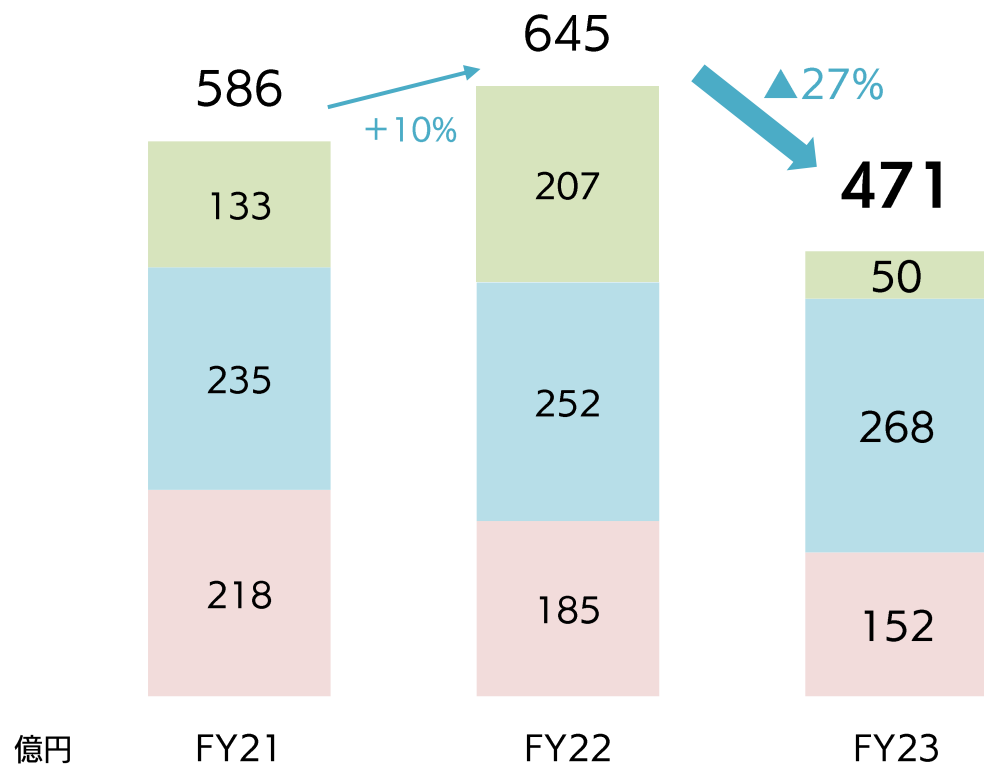
※2：マネージドセキュリティサービスの略

- 通信や個人が減収する一方、継続して売上総利益率は改善
- 採用は順調に進捗するも、フォントワークス連結除外の影響を除き4.2億円 (+8%) の増益



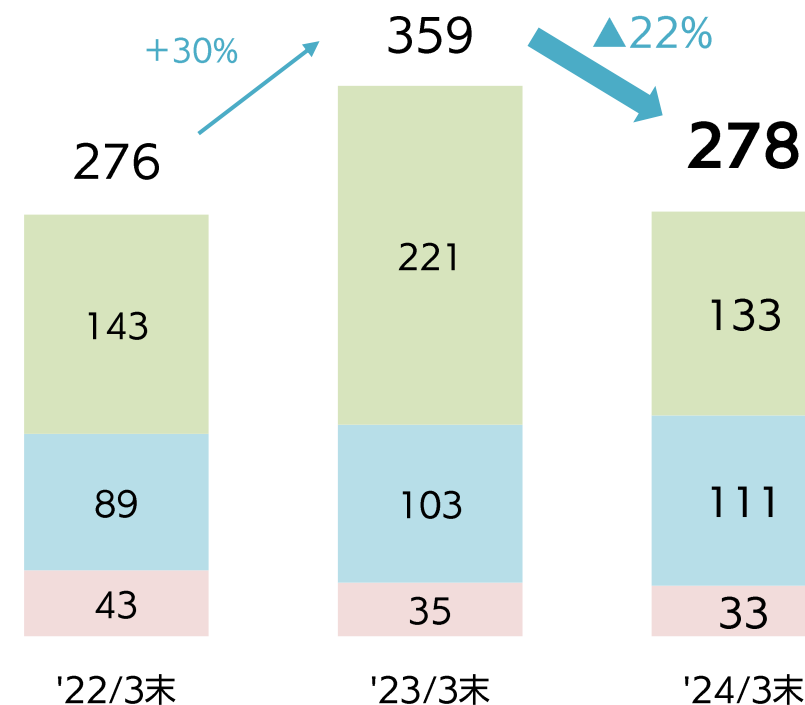
受注高

公共	FY21-22は農水省や自治体情報SCなどの複数年分の大型受注あり FY23にはデジタル庁や国交省の案件を受注
インター プライズ	クラウド構築/運用やMSSを含むセキュリティの受注が増加
通信	ベンダーマネジメント案件や社内システムの定常開発が減少

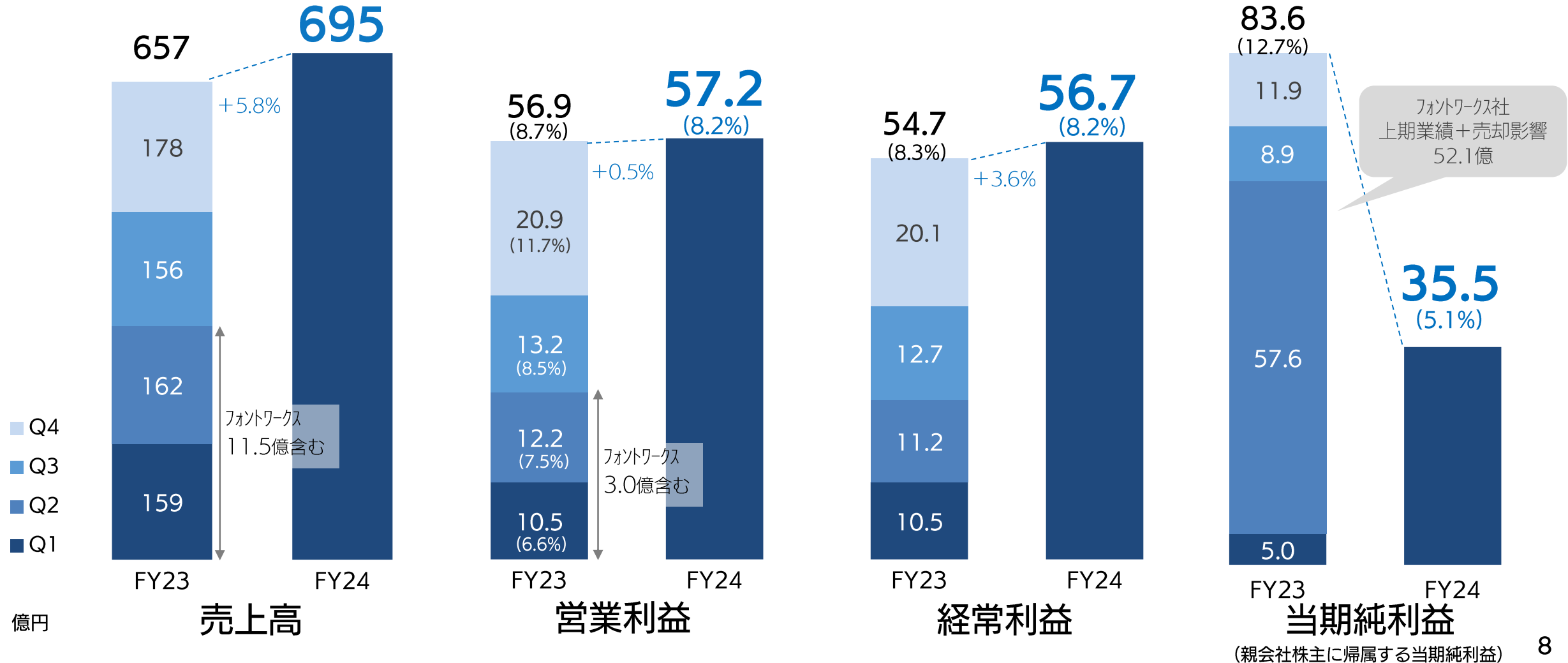


受注残高

公共	農水省や自治体情報SCなどの複数年に渡る大型運用案件が順調に進捗し、受注残を消化
インター プライズ	クラウド構築/運用やMSSを含むセキュリティの受注が増加し受注残を積み上げ
通信	ベンダーマネジメント案件や社内システムの定常開発が減少



- FY24通期見通しは売上高 695億円（前期比+6%）、営業利益 57.2億円（前期並み）
- FY23からフォントワークスの影響を除くと売上高+8%、営業利益+6%、純利益+13%



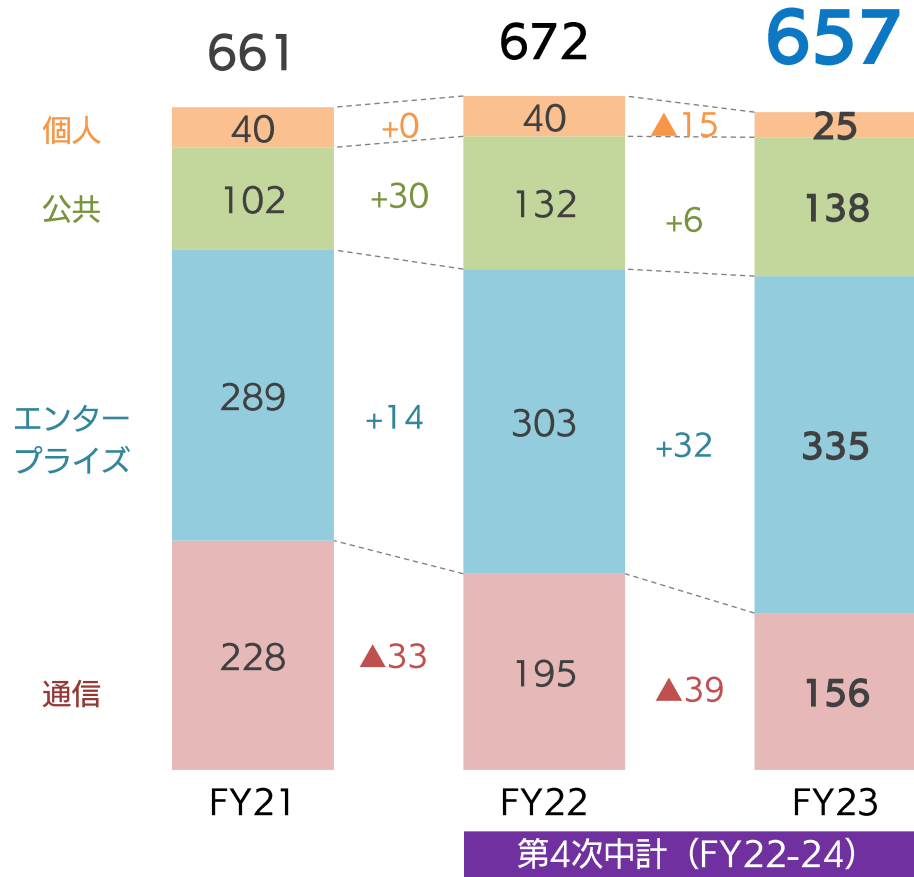
中期経営計画の進捗

第4次中期経営計画（FY22～FY24）

＝ SB Technology

(億円)

売上高の推移



個人

- 「クラウド・セキュリティへの注力」のため、フォントワークスの株式等譲渡
- ノートンストア運営代行は契約の変更により、縮小傾向

公共

- 農林水産省を中心に申請/地図領域のビジネスを拡大、他省庁へ横展開
- 自治体情報SCが4県から12県に増加、ビジネスオポチュニティも拡大

エンタープライズ

- 「クラウド・セキュリティへの注力」により売上高は大きく拡大
- 自社サービスであるMSSも前期比1.5倍の成長を継続し、着実に成長

通信

- ベンダーマネジメント案件の返却・投資抑制により親会社ビジネスの比率が低下
- 原価コントロールにより着実に利益をあげられる体質へ変化

今後も「大きく成長する」ために各マーケットで施策を実行
結果事業ポートフォリオは大きく変化し、公共・エンタープライズが拡大

売上総利益率の推移

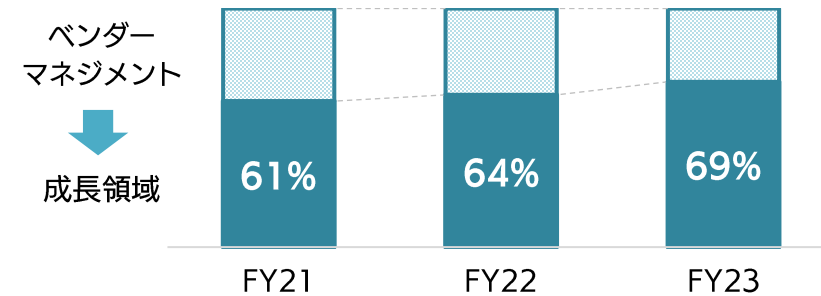


Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
FY21				FY22				FY23			

通信向けビジネスの動向

- 投資抑制の影響により売上高は減少傾向となる中、より高付加価値な領域へシフトし利益率を改善

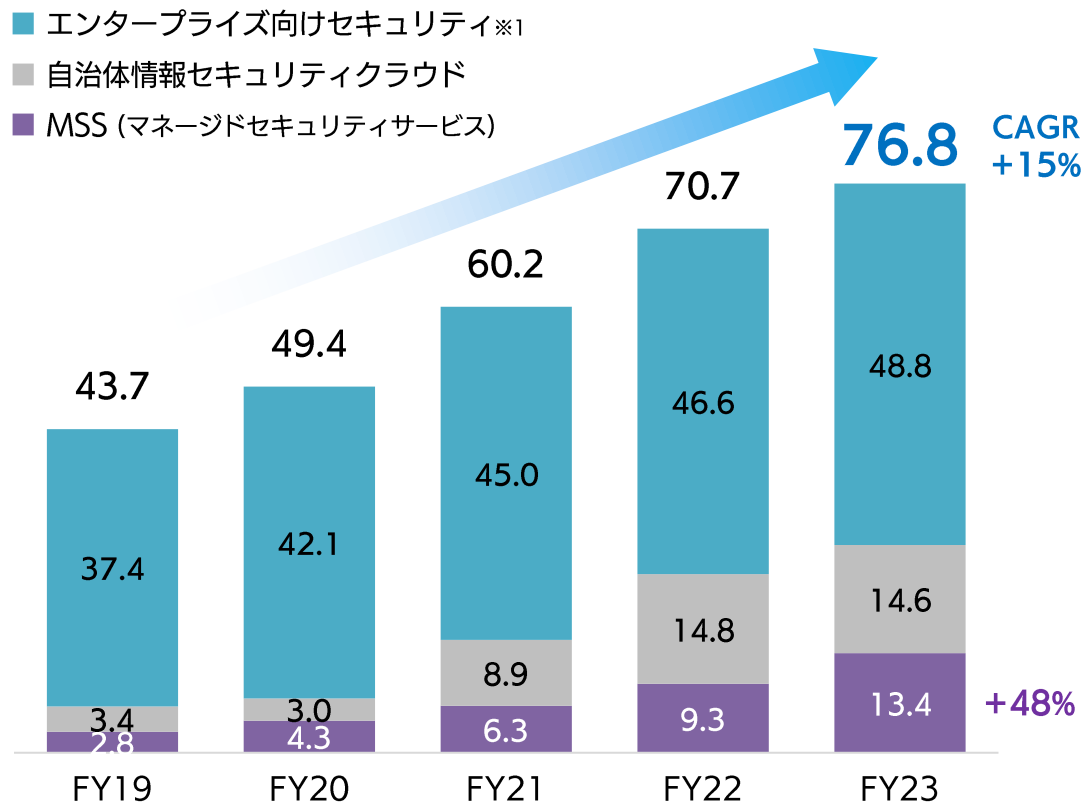
売上高構成比の推移



- リソースの拡大・効率化に向けたオフショア活用を促進
- ベトナムでオフショア開発・ICTソリューション開発を提供するNTQ社へ出資

原価コントロールの取り組みは着実な成果を上げ、利益率は改善
FY24～は成長領域での案件獲得活動を増やし案件を創出

SBT単体セキュリティ事業 売上高推移 (億円)



セキュリティビジネスの動向

- MSSは危機検知の領域を中心に毎年1.5倍の成長
- FY23～平時のセキュリティ対応におけるサービスを拡充、大型案件も獲得

MSS (マネージドセキュリティサービス)

【今後強化する領域】

平時の対応

- IT資産の把握
- 脆弱性自動管理
- 設定の不備検知とリスクレポート

危機検知

- セキュリティログの収集
- ログの相関関係による攻撃分析

調査・復旧支援

- 障害/攻撃検知時の対応
- 「初動」から「復旧」まで幅広く支援

- SIEMサービス / SOCサービス市場におけるシェア1位 ※2




注力している自社サービスのMSSは毎年約1.5倍の成長率を維持
セキュリティ市場におけるプレゼンスも向上

※1: セキュリティ機器の販売も含む

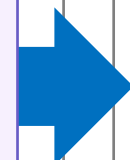
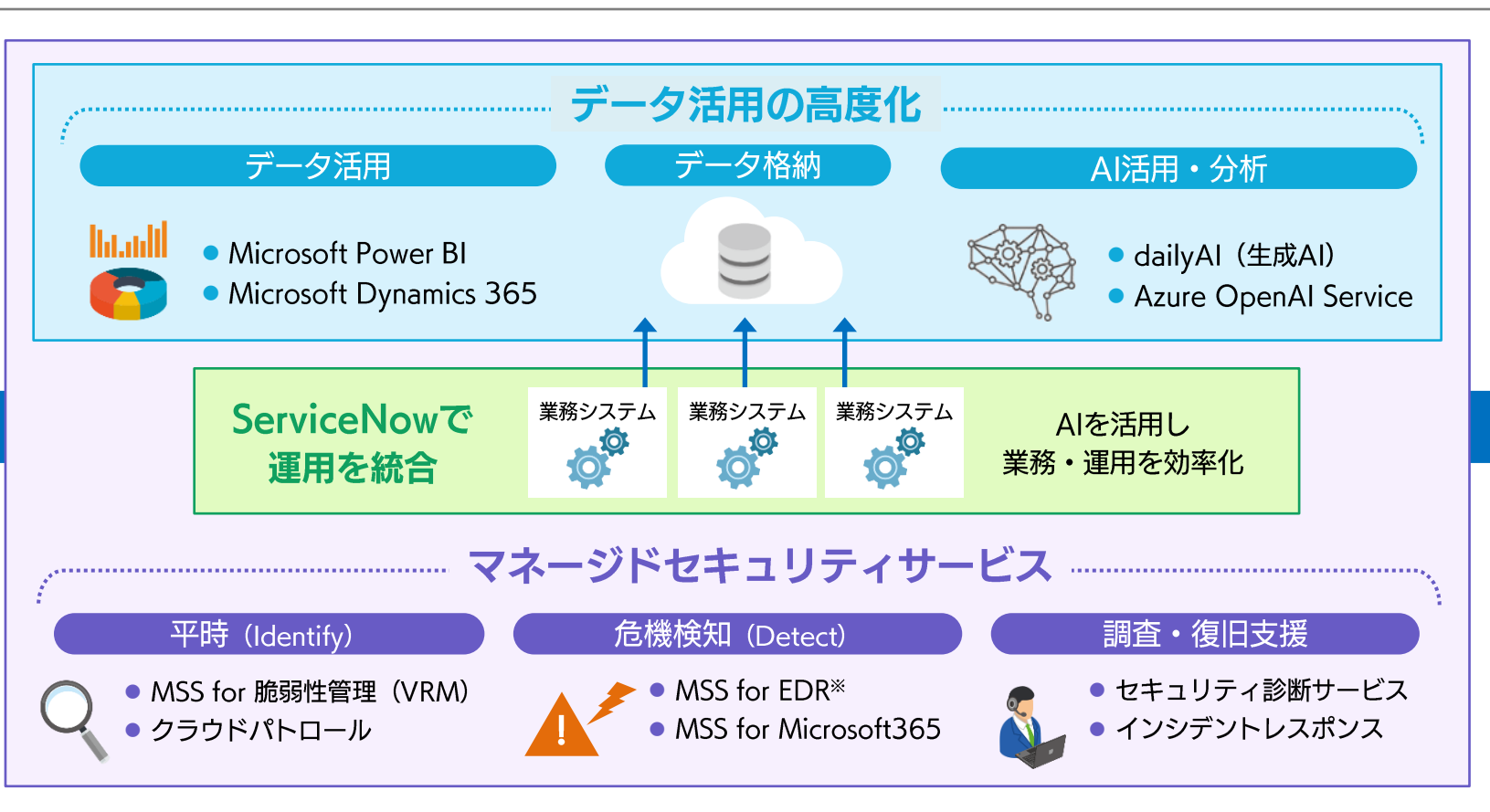
※2: ITR 「ITR MarketView: エンドポイント・セキュリティ対策型/情報漏洩対策型SOCサービス市場2022・2023」 ベンダー別売上金額シェア(2021・2022年度) デロイト トーマツ ミック経済研究所 「マネージドセキュリティサービス市場の現状と展望 2023年度版」

SB Technology



- システム構築
ならびに運用
- 活用に向けた
コンサルや教育
サービスの提供

で **DXを推進**





お客様の競争力強化

セキュアな環境をベースにデータ活用までを一貫してサポート
お客様のDXを促進するパートナーへ

※端末などのエンドポイントのセキュリティ (Endpoint Detection and Responseの略)

農林水産省DXにおける当社の実績

行政手続きの電子化



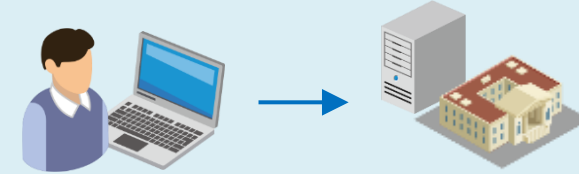
申請手続きを電子化する
基盤を開発

職員自ら実装出来る
申請サービスの構築・運用



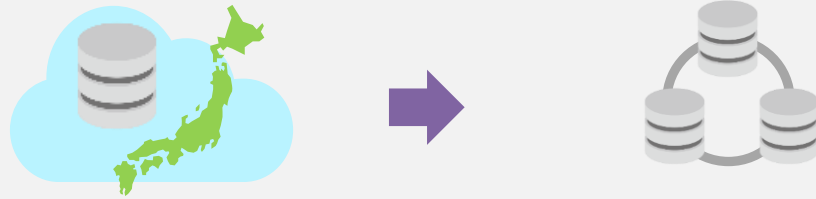
他省庁で新たに受注した案件

国土交通省 / eMLIT (手続業務一貫処理システム)



申請業務を電子化する基盤の構築

地理情報の共通管理

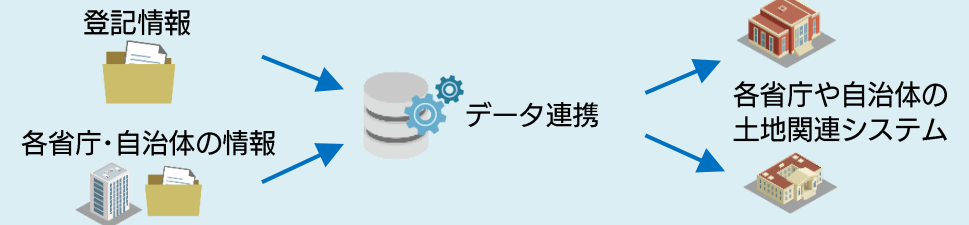


地理情報を一元管理するための
共通基盤を開発

データのクレンジング・
紐づけ業務の実施



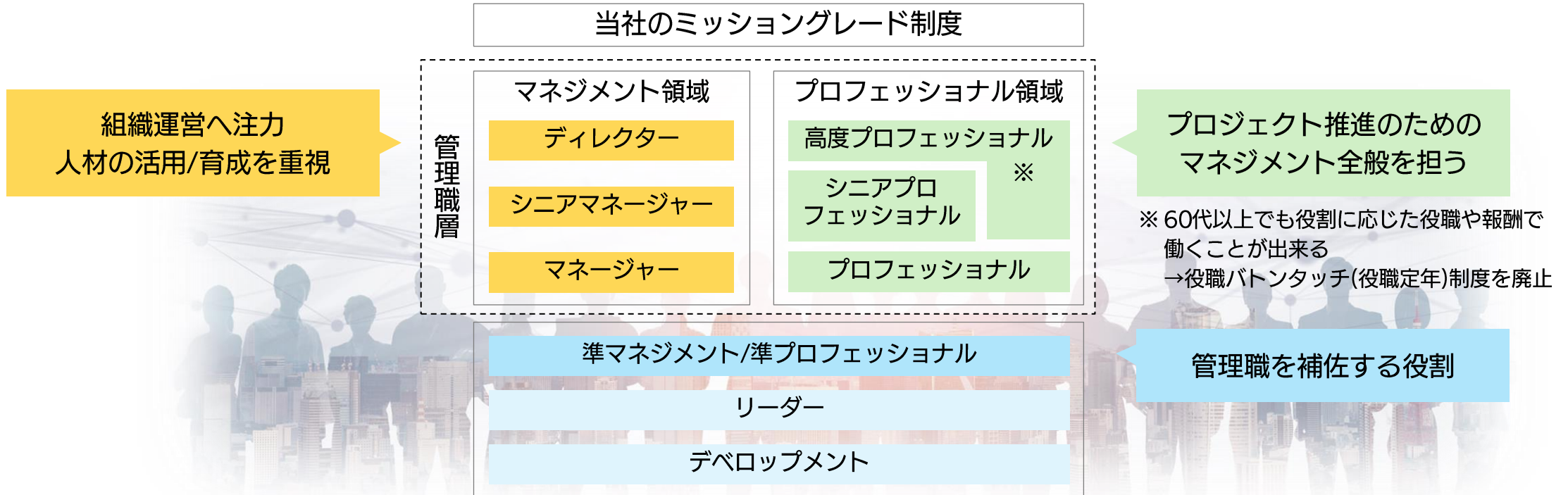
デジタル庁 / 不動産登記ベースレジストリ



住所データをマスタ管理・運用するパイロットシステム構築

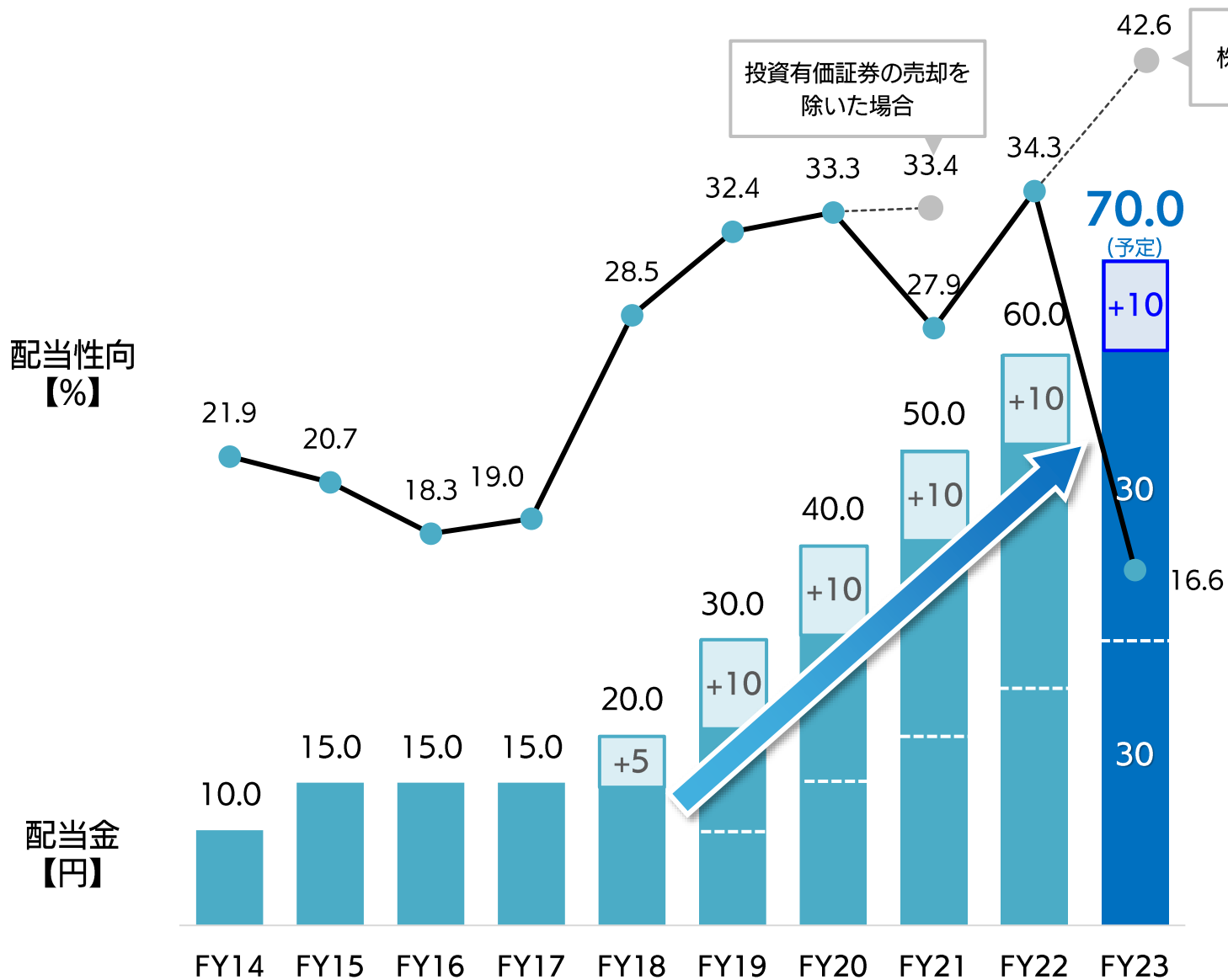
農林水産省DXにおける電子申請や地図領域ビジネスの実績・知見を生かし、
他省庁の案件を獲得

2024年4月以降、より上流のビジネスを担えるIT企業へ進化を遂げるため 管理職を中心に裁量と役割を見直し、役割に相応しい報酬制度設計でベースアップを実現



社員1人ひとりが高い専門性と最大限のパフォーマンスを発揮できるよう
人事制度を改定、月例給与は平均5%アップへ

株主還元



**24年3月期は
年間配当70円(予定)**

Fontworksの連結除外後も
営業利益の着実な成長が見込めることから
10円増配を予定

※2017年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行い、配当額を調整

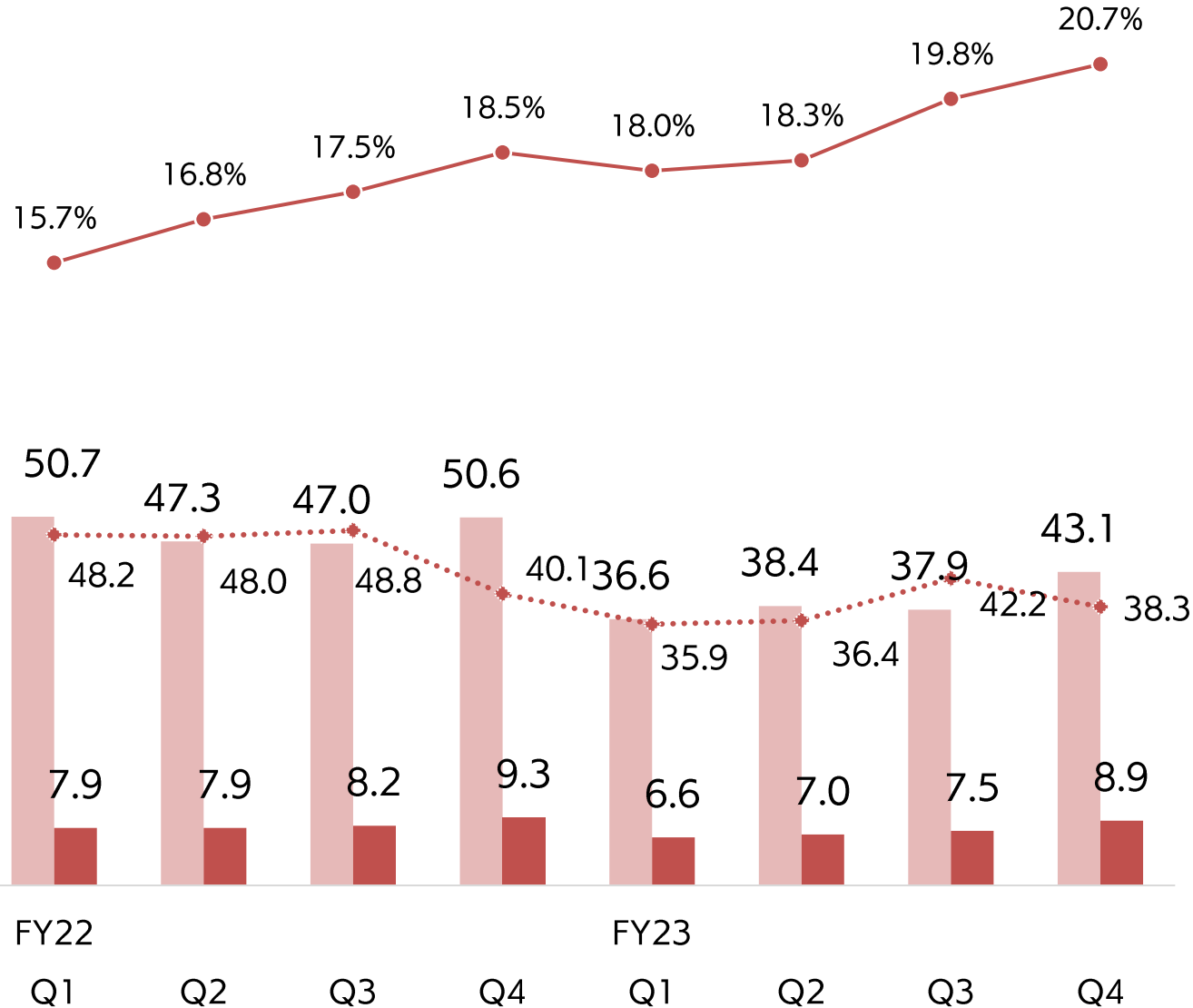
決算添付資料

＝ SB Technology

- 公共大型案件の運用フェーズ移行やフォントワークスの連結除外、通信領域の影響により減収
- エンタープライズの伸長や公共・通信の収益性改善により営業利益は増益

	百万円 (利益率)	FY23Q4	FY22Q4	増減額	増減率
売上高		17,864	18,996	▲1,131	▲6.0%
営業利益		過去最高 2,091 (11.7%)	2,015 (10.6%)	+75	+3.8%
経常利益		過去最高 2,029 (11.4%)	2,009 (10.6%)	+20	+1.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		過去最高 1,552 (8.7%)	1,388 (7.3%)	+164	+11.8%
EBITDA ※		過去最高 2,453	2,438	+14	+0.6%

※EBITDA=営業利益+のれん償却額（販管費）+減価償却費



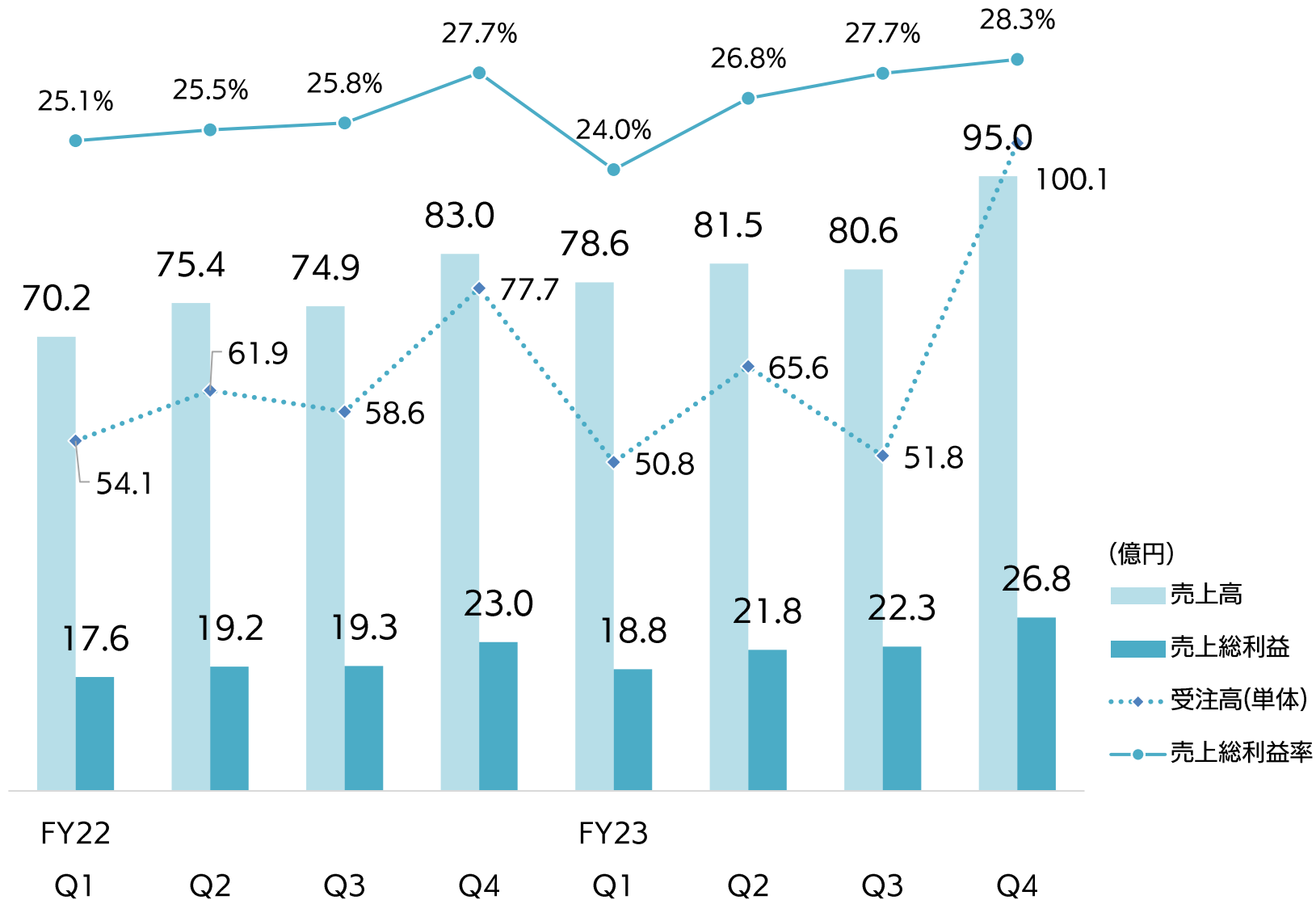
通信 (前年同期比)

受注高 (単体)

- 社内システムの定常開発やベンダーマネジメント案件が減少

売上高/売上総利益

- ベンダーマネジメント案件や投資抑制の影響により減収
- システム開発の効率化等が進み利益率が向上



エンタープライズ (前年同期比)

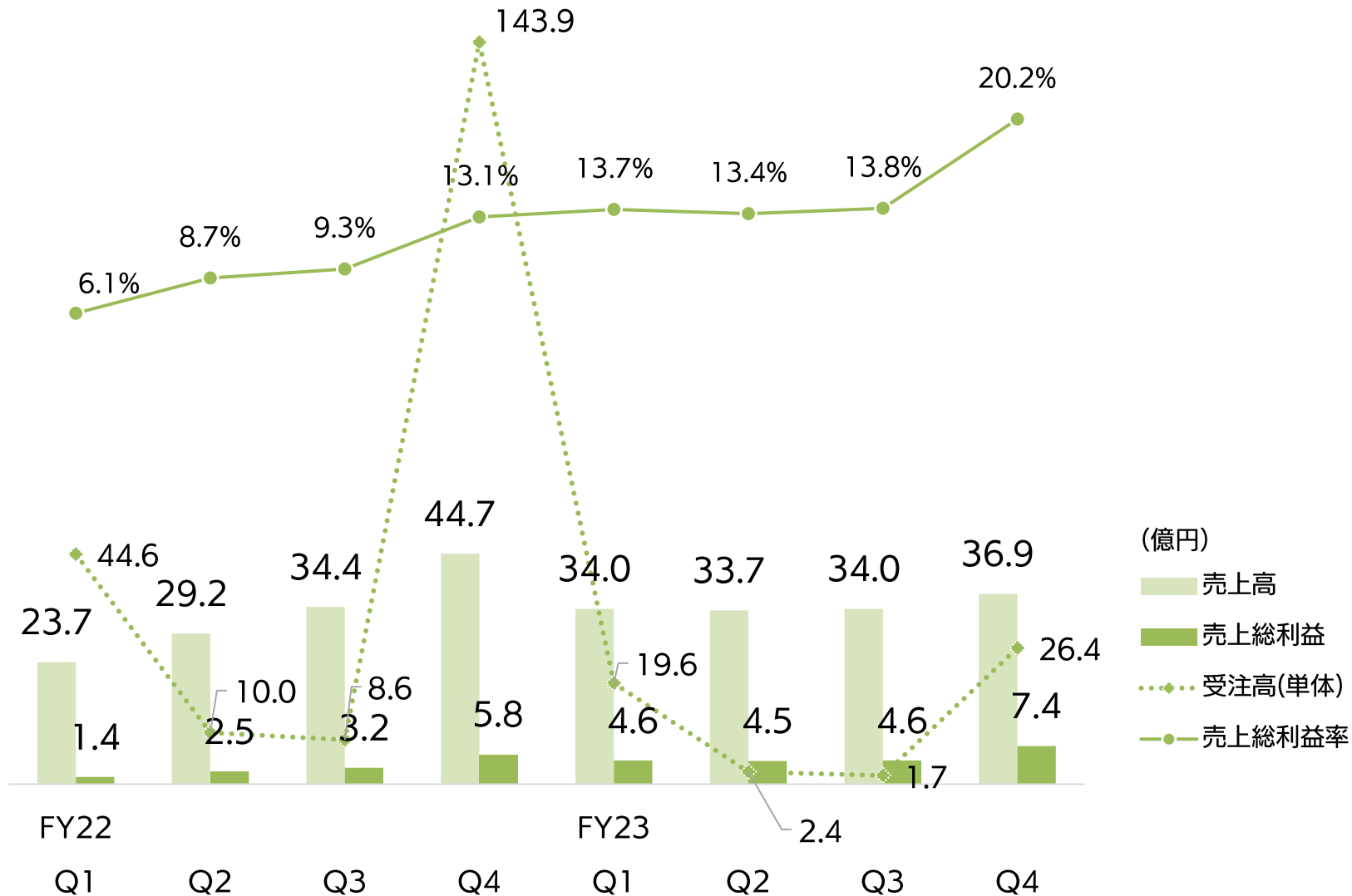
受注高 (単体)

- クラウドやセキュリティの開発/構築、運用保守案件が増加
- 注力顧客に対する大型ライセンス販売が発生

売上高/売上総利益

- 品質管理の向上により主に注力顧客向けのクラウド開発案件の利益率が改善
- MSS*売上高はYoY約1.5倍と順調に成長

※：マネージドセキュリティサービスの略



公共 (前年同期比)

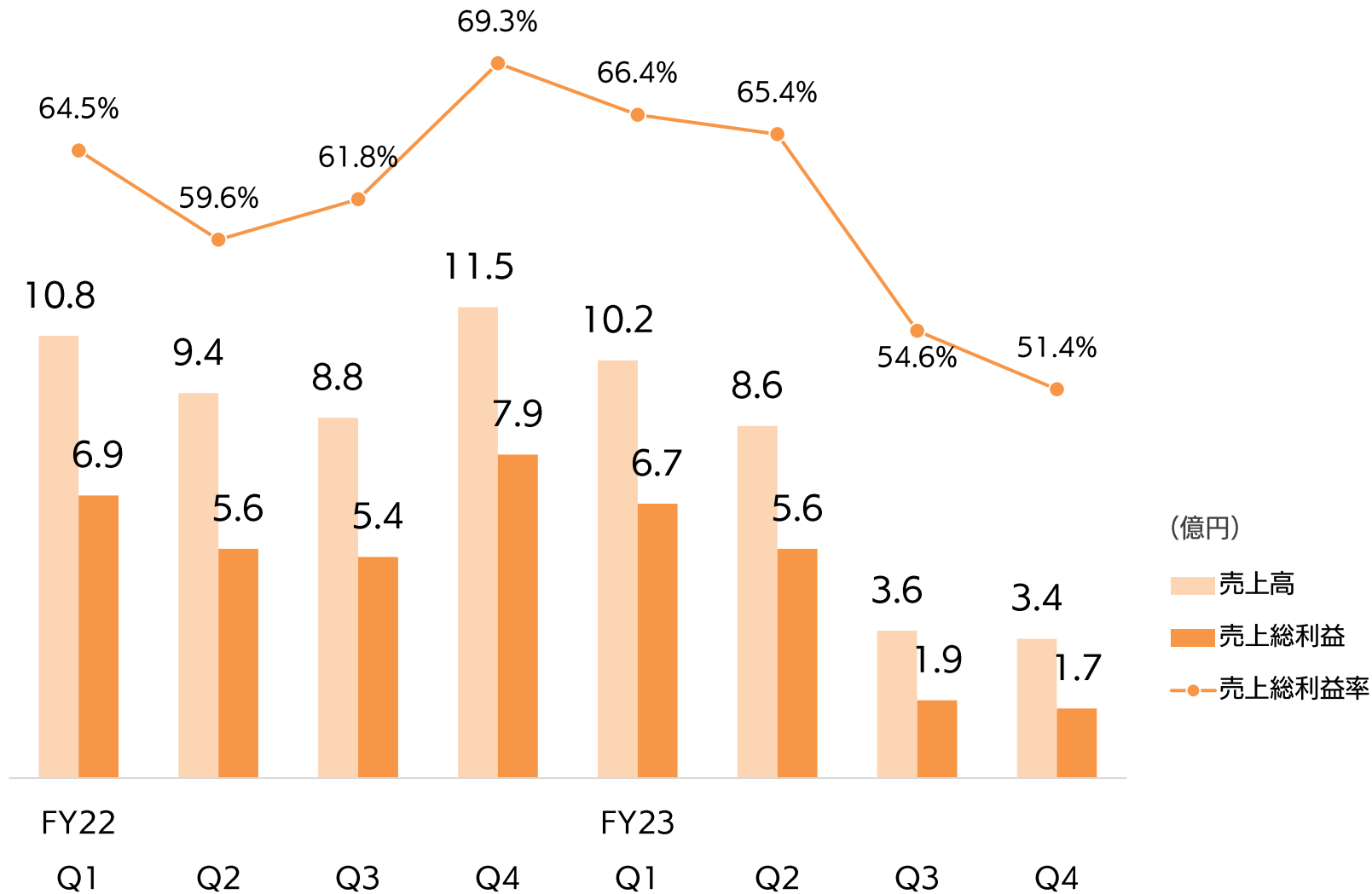
受注高 (単体)

- FY22Q4に農林水産省向け複数年分の運用案件を受注しており反動減
- 農林水産省DX案件の実績を生かし国土交通省eMLIT案件を受注

売上高/売上総利益

- 自治体情報SC※や農林水産省のDX案件の運用フェーズ移行により減収するも、順調な進捗に伴い利益を確保

※：セキュリティクラウドの略



個人 (前年同期比)

売上高/売上総利益

- ノートンストアの契約変更の影響及びフォントワークスがQ3以降連結除外となったことにより、減収・減益

												前期比	
		FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	FY22Q4	FY22	FY23Q1	FY23Q2	FY23Q3	FY23Q4	FY23	増減額	増減率
連結業績（百万円）	売上高	15,560	16,145	16,524	18,996	67,227	15,958	16,247	15,633	17,864	65,704	▲1,523	▲2.3%
	売上総利益	3,405	3,538	3,625	4,625	15,194	3,693	3,904	3,655	4,507	15,760	+565	+3.7%
	利益率	21.9%	21.9%	21.9%	24.3%	22.6%	23.1%	24.0%	23.4%	25.2%	24.0%	+1.4pt	-
通信	売上高	5,079	4,731	4,701	5,062	19,575	3,669	3,846	3,797	4,317	15,630	▲3,944	▲20.1%
	売上総利益	797	794	821	935	3,348	660	702	752	893	3,010	▲338	▲10.1%
	利益率	15.7%	16.8%	17.5%	18.5%	17.1%	18.0%	18.3%	19.8%	20.7%	19.3%	+2.2pt	-
エンタープライズ	売上高	7,021	7,540	7,493	8,300	30,356	7,862	8,158	8,067	9,507	33,595	+3,238	+10.7%
	売上総利益	1,764	1,924	1,933	2,302	7,925	1,886	2,183	2,236	2,687	8,994	+1,068	+13.5%
	利益率	25.1%	25.5%	25.8%	27.7%	26.1%	24.0%	26.8%	27.7%	28.3%	26.8%	+0.7pt	-
公共	売上高	2,374	2,927	3,442	4,478	13,224	3,403	3,376	3,407	3,691	13,878	+654	+4.9%
	売上総利益	145	255	321	587	1,310	465	450	468	747	2,132	+822	+62.8%
	利益率	6.1%	8.7%	9.3%	13.1%	9.9%	13.7%	13.4%	13.8%	20.2%	15.4%	+5.5pt	-
個人/ライセンス	売上高	1,084	946	886	1,153	4,070	1,023	867	361	347	2,598	▲1,471	▲36.2%
	売上総利益	699	563	547	799	2,610	679	566	197	178	1,622	▲987	▲37.8%
	利益率	64.5%	59.6%	61.8%	69.3%	64.1%	66.4%	65.4%	54.6%	51.4%	62.4%	▲1.7pt	-

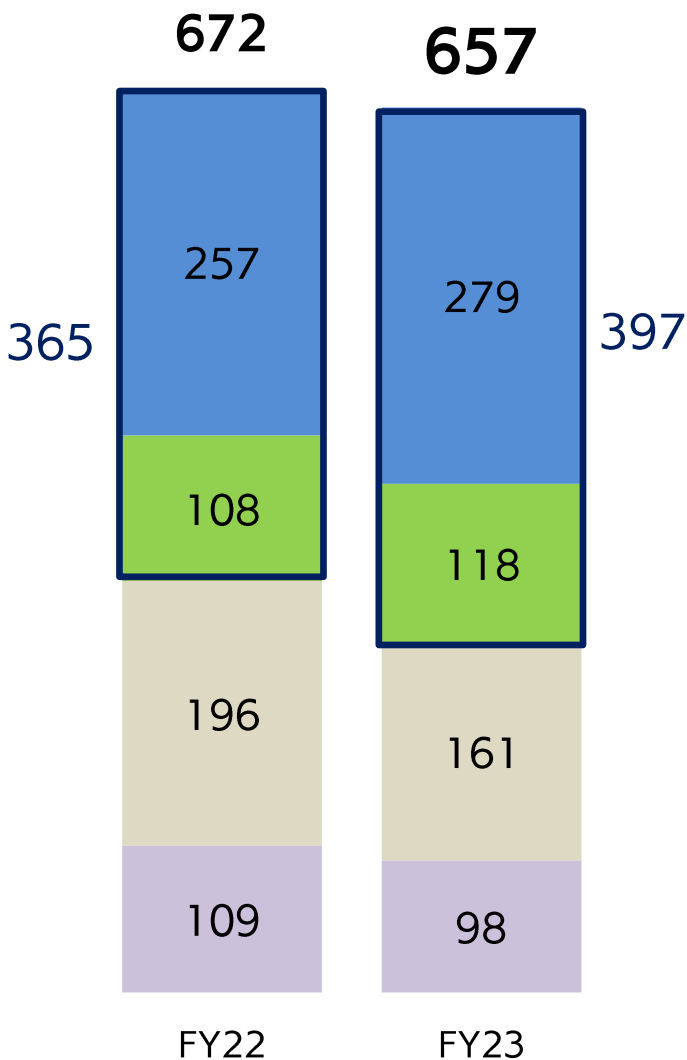
※一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

連結業績（百万円）	FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	FY22Q4	FY22	FY23Q1	FY23Q2	FY23Q3	FY23Q4	FY23	前期比	
											増減額	増減率
売上高	15,560	16,145	16,524	18,996	67,227	15,958	16,247	15,633	17,864	65,704	▲1,523	▲2.3%
通信	5,079	4,731	4,701	5,062	19,575	3,669	3,846	3,797	4,317	15,630	▲3,944	▲20.1%
エンタープライズ	7,021	7,540	7,493	8,300	30,356	7,862	8,158	8,067	9,507	33,595	+3,238	+10.7%
公共	2,374	2,927	3,442	4,478	13,224	3,403	3,376	3,407	3,691	13,878	+654	+4.9%
個人/ライセンス	1,084	946	886	1,153	4,070	1,023	867	361	347	2,598	▲1,471	▲36.2%
売上原価	12,154	12,607	12,899	14,370	52,032	12,265	12,343	11,978	13,357	49,944	▲2,088	▲4.0%
売上総利益	3,405	3,538	3,625	4,625	15,194	3,693	3,904	3,655	4,507	15,760	+565	+3.7%
販売管理費	2,320	2,353	2,354	2,609	9,637	2,636	2,678	2,330	2,415	10,061	+423	+4.4%
営業利益	1,085	1,184	1,271	2,015	5,557	1,057	1,225	1,324	2,091	5,699	+141	+2.6%
営業外損益	▲15	▲32	▲4	▲5	▲58	▲2	▲98	▲53	▲61	▲225	▲167	-
経常利益	1,070	1,152	1,266	2,009	5,499	1,054	1,127	1,271	2,029	5,473	▲25	▲0.5%
特別損益	7	23	3	▲77	▲42	▲133	6,594	84	▲53	6,146	+6,189	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	646	699	762	1,388	3,497	505	5,767	893	1,552	8,363	+4,866	+139.2%
EBITA	1,494	1,599	1,685	2,438	7,217	1,505	1,651	1,705	2,453	7,316	+98	+1.4%
単体 受注残高	29,602	27,921	25,641	35,939	35,939	33,388	30,375	26,654	27,860	27,860	▲8,079	▲22.5%

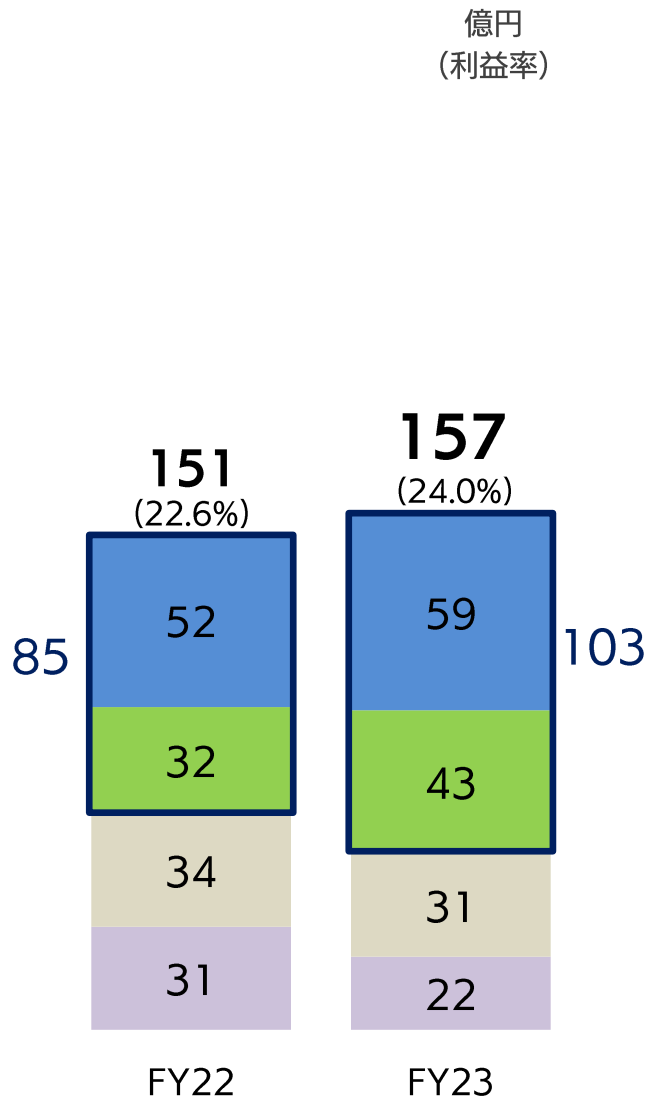
※一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

注カソリューション

売上高



売上総利益



クラウドソリューション：増収・増益

- ・ エンタープライズの注力顧客向けクラウド開発が拡大
- ・ 農林水産省向けDX案件の運用案件が順調に進捗

セキュリティソリューション：増収・増益

- ・ エンタープライズ向けMSS※が好調に推移

テクニカルソリューション：減収・減益

- ・ ベンダーマネジメント案件の減少や投資抑制により減収したものの、効率化が進み利益率は着実に改善

機器・ライセンス：減収・減益

- ・ フォントワークスの非連結化やライセンス販売案件の選別により減収減益

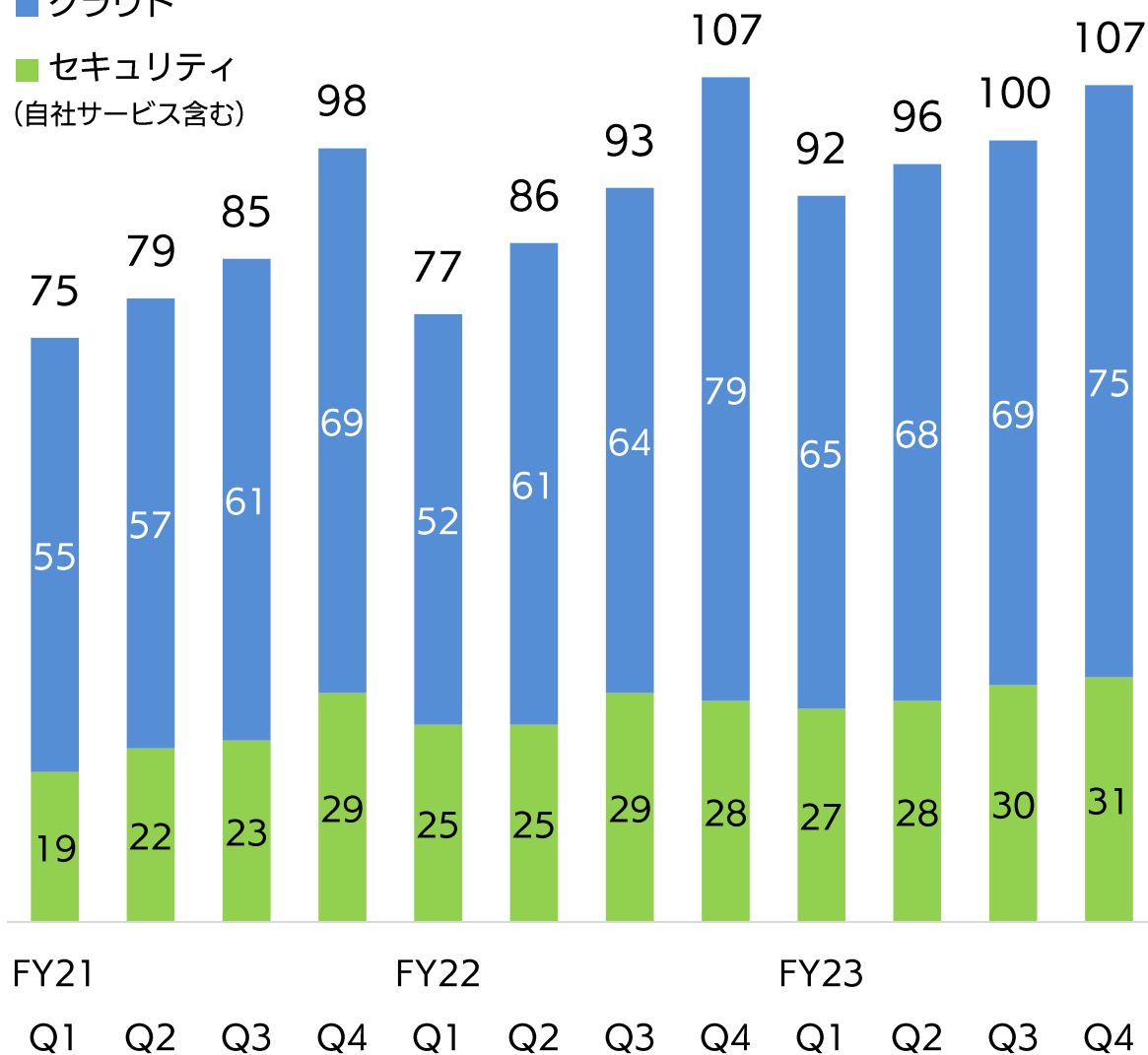
※：マネージドセキュリティサービスの略

億円

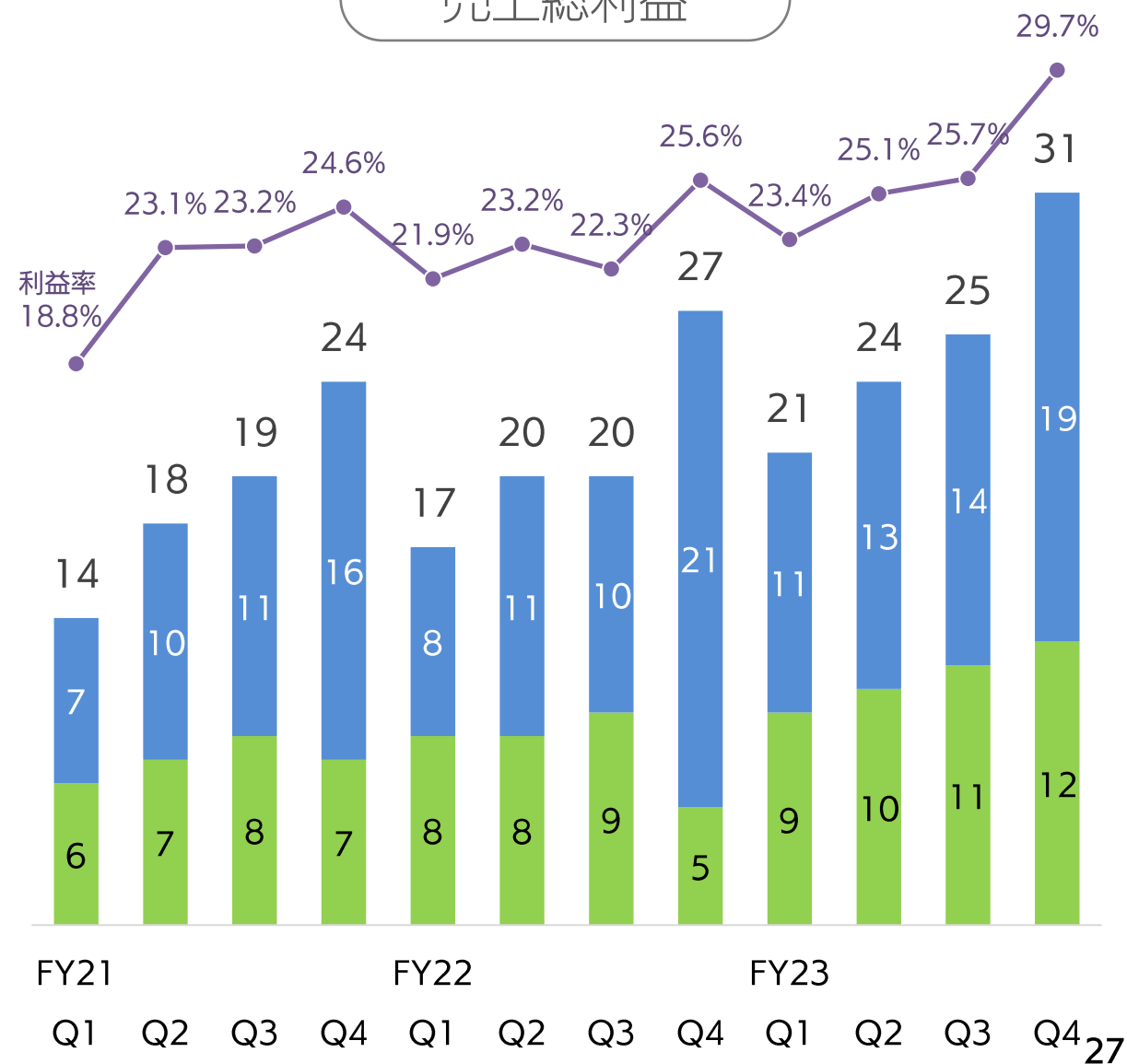
■クラウド

■セキュリティ
(自社サービス含む)

売上高



売上総利益

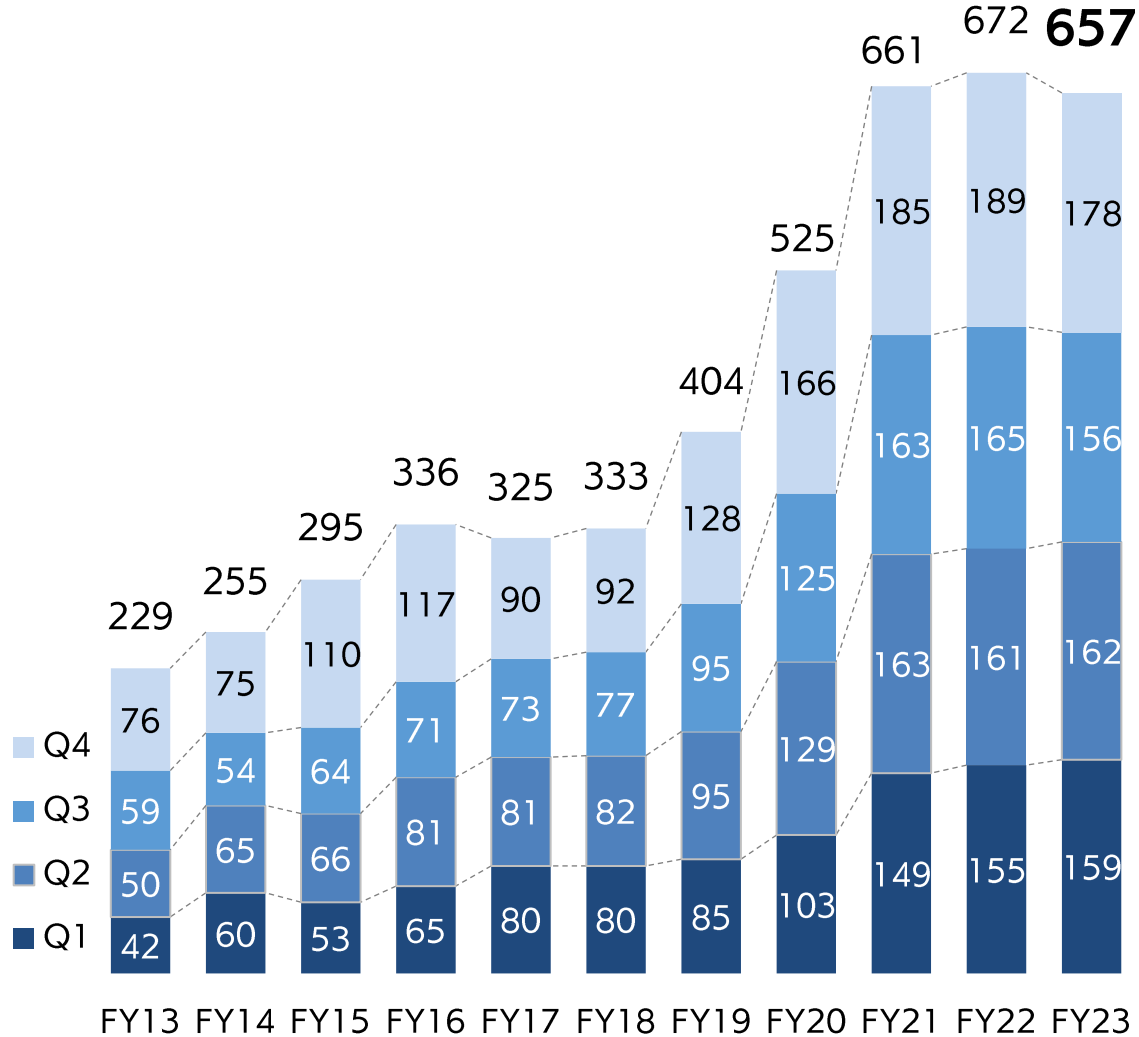


		FY22Q1	FY22Q2	FY22Q3	FY22Q4	FY22	FY23Q1	FY23Q2	FY23Q3	FY23Q4	FY23	前期比	
												増減額	増減率
連結業績（百万円）	売上高	15,560	16,145	16,524	18,996	67,227	15,958	16,247	15,633	17,864	65,704	▲1,523	▲2.3%
	売上総利益	3,405	3,538	3,625	4,625	15,194	3,693	3,904	3,655	4,507	15,760	+565	+3.7%
	利益率	21.9%	21.9%	21.9%	24.3%	22.6%	23.1%	24.0%	23.4%	25.2%	24.0%	+1.4pt	-
クラウド	売上高	5,225	6,140	6,427	7,928	25,722	6,536	6,824	6,972	7,593	27,926	+2,203	+8.6%
	売上総利益	825	1,147	1,099	2,195	5,268	1,187	1,381	1,440	1,960	5,969	+701	+13.3%
	利益率	15.8%	18.7%	17.1%	27.7%	20.5%	18.2%	20.3%	20.7%	25.8%	21.4%	+0.9pt	-
セキュリティ	売上高	2,566	2,551	2,903	2,818	10,840	2,758	2,853	3,027	3,176	11,815	+975	+9.0%
	売上総利益	883	870	981	555	3,290	987	1,045	1,125	1,234	4,392	+1,101	+33.5%
	利益率	34.4%	34.1%	33.8%	19.7%	30.4%	35.8%	36.6%	37.2%	38.9%	37.2%	+6.8pt	-
テクニカルソリューション	売上高	5,093	4,773	4,675	5,134	19,677	3,816	3,966	3,936	4,401	16,120	▲3,556	▲18.1%
	売上総利益	822	830	854	968	3,475	694	729	772	934	3,131	▲344	▲9.9%
	利益率	16.1%	17.4%	18.3%	18.9%	17.7%	18.2%	18.4%	19.6%	21.2%	19.4%	+1.7pt	-
機器販売/ライセンス	売上高	2,674	2,679	2,518	3,114	10,987	2,847	2,603	1,696	2,694	9,841	▲1,145	▲10.4%
	売上総利益	874	689	690	907	3,160	824	747	316	377	2,266	▲894	▲28.3%
	利益率	32.7%	25.7%	27.4%	29.1%	28.8%	29.0%	28.7%	18.7%	14.0%	23.0%	▲5.8pt	-
経営指標※1 合計	売上高	7,792	8,692	9,330	10,747	36,562	9,294	9,677	10,000	10,769	39,741	+3,178	+8.7%
	売上総利益	1,709	2,018	2,081	2,750	8,558	2,174	2,427	2,565	3,194	10,362	+1,803	+21.1%
	利益率	21.9%	23.2%	22.3%	25.6%	23.4%	23.4%	25.1%	25.7%	29.7%	26.1%	+3.4pt	-

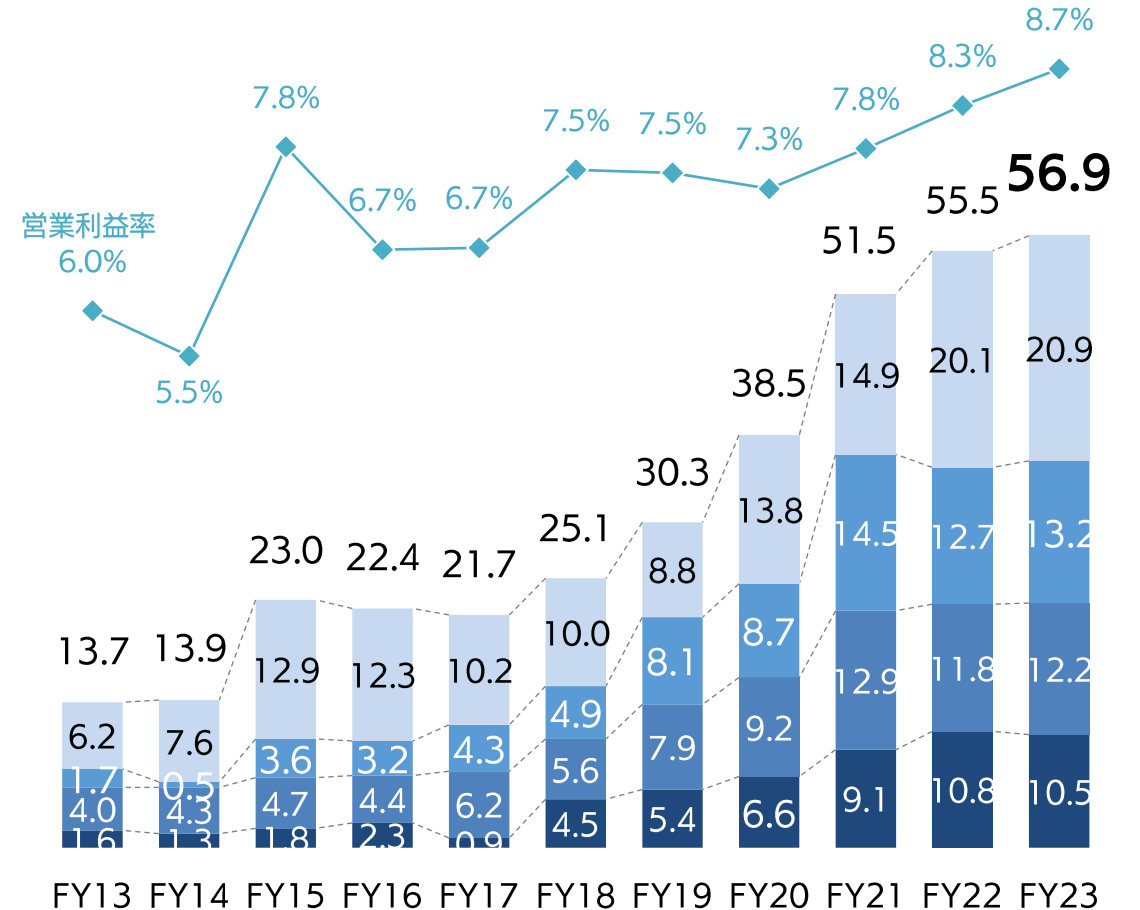
※1：クラウドソリューション+セキュリティソリューション（自社サービスを含む）

※2：一部のプロジェクトに関してセグメント区分の見直しを行い、現在の計上方法に則して算出しております。

売上高



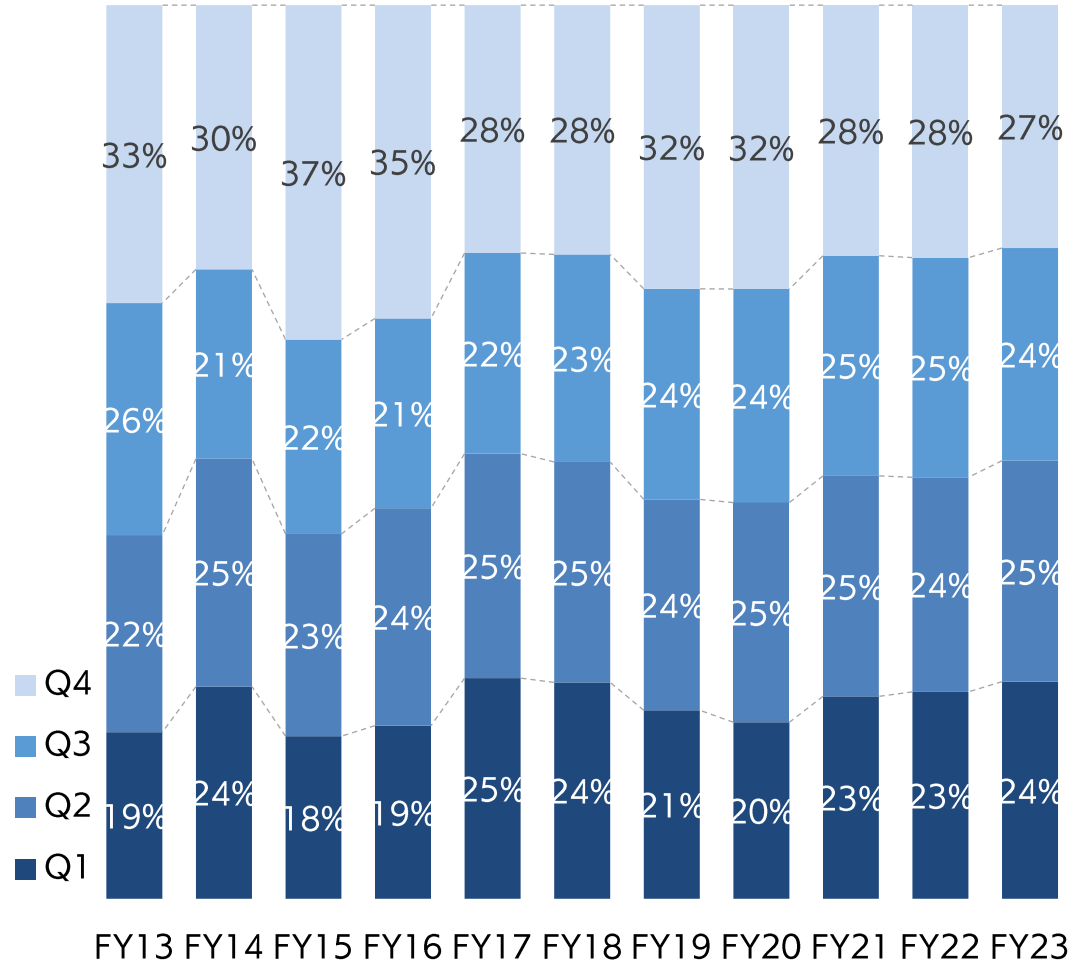
営業利益



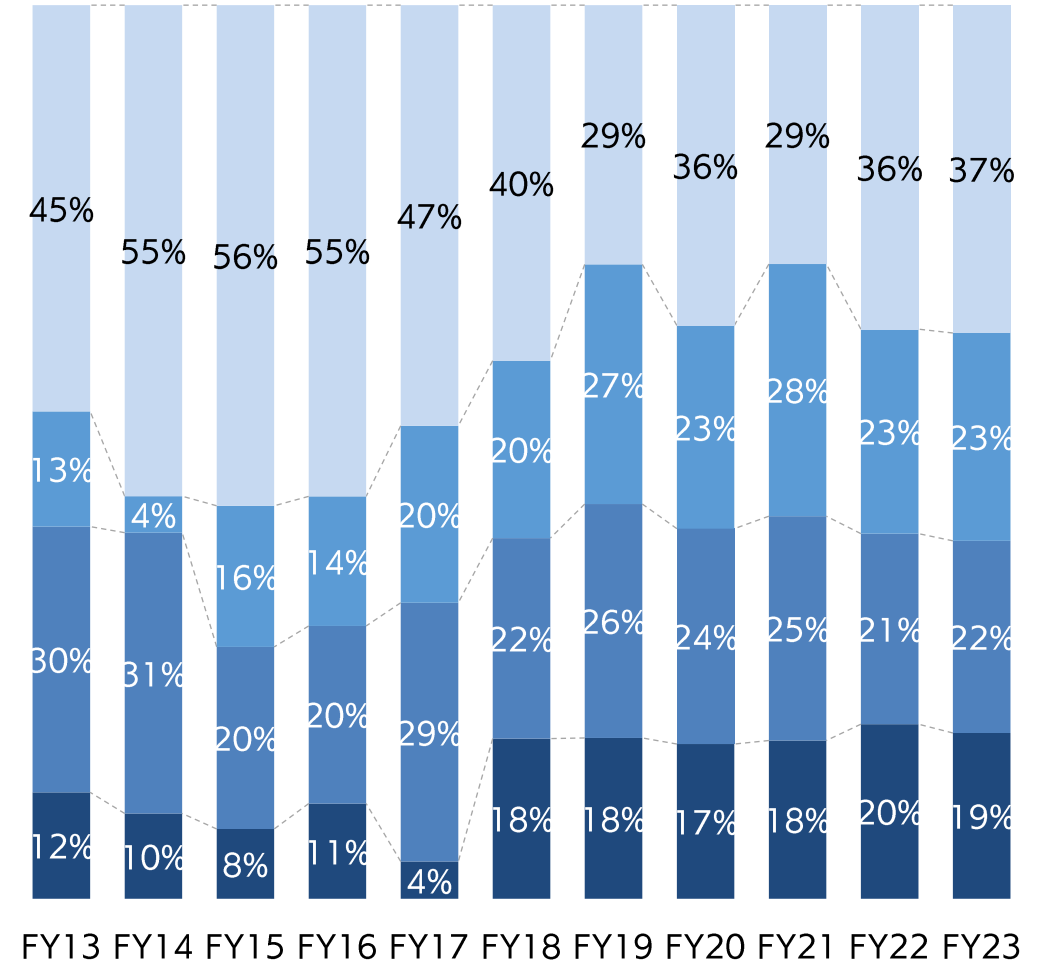
(億円)

※FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、FY20以前の売上高は主な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした参考値

売上高



営業利益



(億円)

※FY21Q1より「収益認識に関する会計基準」を適用、FY20以前の売上高は主な影響であるノートンビジネスの売上を過去から純額表示にした参考値

	(百万円)	2023/3末	2024/3末	前期末比
流動資産		35,622	41,654	6,032
現預金		8,221	10,833	2,611
受取手形・売掛金		24,133	25,289	1,156
固定資産		9,842	10,039	197
有形固定資産		1,681	1,451	△ 229
無形固定資産		4,120	3,176	△ 944
投資その他の資産		4,040	5,412	1,371
総資産		45,466	51,694	6,228
流動負債		18,590	17,962	△ 628
固定負債		1,708	1,113	△ 594
純資産		25,167	32,619	7,451

会 社 情 報

＝ SB Technology

会社概要

(2024年3月31日現在)

商号 SBテクノロジー株式会社(※)
所在地 東京都新宿区新宿六丁目27番30号
事業内容 ICTサービス事業
設立 1990年10月16日
資本金 1,270百万円
従業員数 連結 1,447名 (単体 1,004名)

(※)2019年10月1日付でソフトバンク・テクノロジー株式会社からSBテクノロジー株式会社に商号変更しております



ISMS認証登録範囲:
本社、芝大門、天王洲、
大阪、名古屋、福岡、富山

経営理念

Mission 存在意義

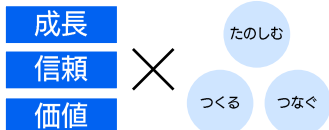
情報革命で人々を幸せに
～技術の力で、未来をつくる～

Vision 目指す姿

多様な働き方と挑める環境で先進技術と創造性を磨き、
社会に新しい価値を提供し続ける

Value 価値観・行動指針

3つの視点
×
3つのアクションで
多様性を認め合う



役員

(2024年4月1日現在)

取締役

代表取締役社長 CEO 阿多 親市
取締役 CSO 佐藤 光浩
取締役 CFO 岡崎 正明
取締役 藤長 国浩
社外取締役 鈴木 茂男
社外取締役 宗像 義恵
社外取締役 富永 由加里
社外取締役 宮川 由香
社外取締役 澤 円

監査役

常勤監査役 上野 光正
監査役 廣瀬 治彦
監査役 中野 通明
監査役 内藤 隆志

執行役員

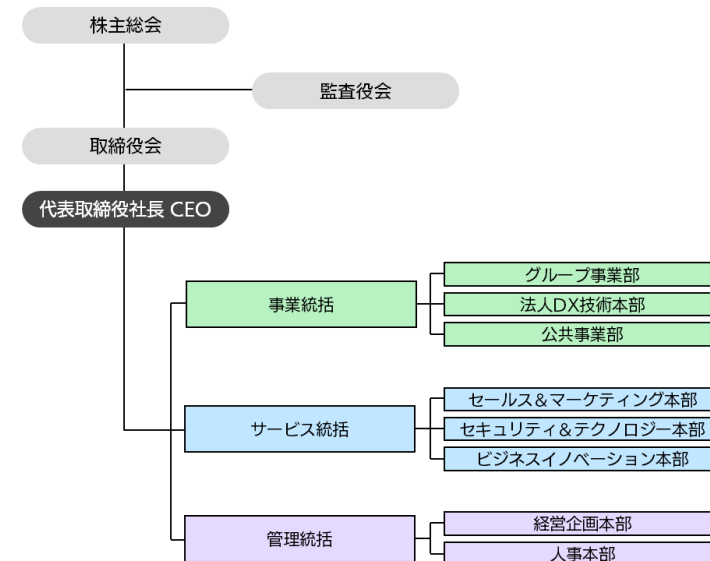
最高経営責任者執行役員 阿多 親市
副社長執行役員 CSO 佐藤 光浩
常務執行役員 CFO 岡崎 正明
常務執行役員 喜多村 晃
常務執行役員 CIO 渡辺 真生
上席執行役員 CCO 正岡 聖一
執行役員 青木 誠
執行役員 宮澤 拓哉
執行役員 CDO 兼 CISO 金澤 謙悟
執行役員 CMO 上原 郁磨

役職名英文の正式名称は以下のとおりです

CEO Chief Executive Officer (最高経営責任者)
CSO Chief Strategy Officer (最高戦略責任者)
CFO Chief Financial Officer (最高財務責任者)
CIO Chief Information Officer (最高情報責任者)
CCO Chief Compliance Officer (最高コンプライアンス責任者)
CDO Chief DX Officer (最高DX責任者)
CISO Chief Information Security Officer (最高情報セキュリティ責任者)
CMO Chief Marketing Officer (最高マーケティング責任者)

組織図

(2024年4月1日現在)



認定・評価

(2023年8月31日現在)



えるぼし



くるみん



令和4年度
「テレワーク先駆者百選」



健康経営優良法人2023



DX認定



FTSE Blossom
Japan Index

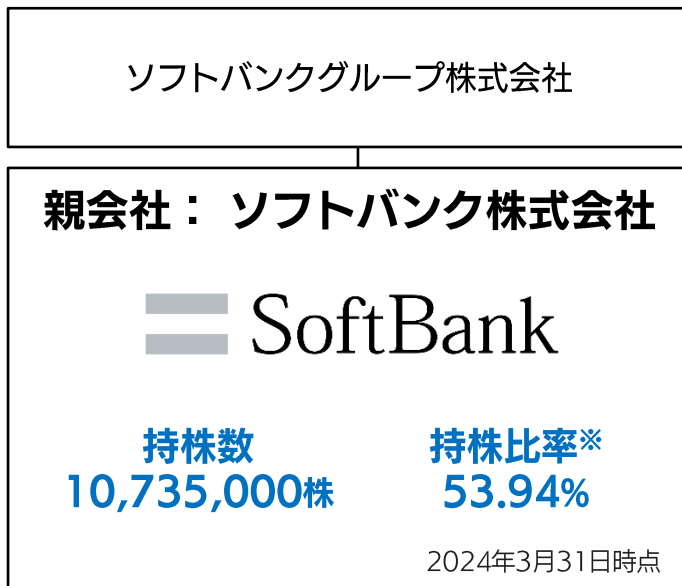


FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

FTSE Blossom Japan
Index Series



2022 - 2023年度選定
JPX日経中小型株指数



主要な子会社 (従業員数は2024年3月31日時点、代表者は2023年6月30日時点)

	<p>M-SOLUTIONS株式会社</p> <p>クラウドサービス及びスマートデバイスを中心としたシステム の設計・開発及び保守・運用サービスの提供</p>	<p>代表者： 植草 学 出資比率： 100% 従業員数： 55名</p>
	<p>株式会社 環</p> <p>クラウドサービスを活用した社内の業務改善・コミュニケーション改革を実現する教育コンテンツの提供</p>	<p>代表者： 青木 沙織 出資比率： 100% 従業員数： 8名</p>
	<p>サイバートラスト株式会社</p> <p>IoTサービス、OSS/Linuxサービス、認証・セキュリティサービスの提供</p>	<p>代表者： 北村 裕司 出資比率： 57.54% 従業員数： 232名</p>
	<p>リデン株式会社</p> <p>農業データの活用を促進し、農業成長サイクルの加速を支援するプラットフォームの提供</p>	<p>代表者： 上原 郁磨 出資比率： 82.57% 従業員数： 2名</p>
	<p>株式会社電縁</p> <p>通信、自治体などを中心としたシステムコンサルティング、Webシステム開発の提供</p>	<p>代表者： 小中 帝宣 出資比率： 100% 従業員数： 79名</p>
	<p>アイ・オーシステムインテグレーション株式会社</p> <p>情報処理システムの開発及び販売・保守等の提供</p>	<p>代表者： 関口 雅之 出資比率： 100% 従業員数： 26名</p>

※自己株式を控除した議決権ベースでの比率

クラウドとセキュリティで お客様のDX化を支援

ICTサービスビジネス

通信

- オンプレミス（プライベートクラウド含）のシステム構築/運用保守
- クラウドコンサルティング/移行支援/構築/運用
- セキュリティ運用監視サービス 等

エンタープライズ

- クラウドコンサルティング/移行支援/構築/運用/IT教育サービス、AI・IoT・DXソリューション
- セキュリティコンサルティング/導入支援/運用監視サービス、電子認証ソリューション 等

公共

- クラウド移行支援/構築/運用/IT教育サービス、AI・IoT・DXソリューション
- セキュリティコンサルティング/導入支援/運用監視サービス 等

個人

- ノートンストア等のECサイト運営代行 等

国内トップクラスのクラウド導入実績と、マイクロソフトが認める技術力

クラウドサービスが普及し始めた2009年からクラウドビジネスを開始し、エンタープライズ企業を中心にMicrosoft 365の導入、Microsoft Azure環境での構築支援など、クラウドソリューションの導入と運用を行っています。このクラウドソリューションを基盤に、さらなるデータの利活用やDX人材の育成・創出などお客様の課題に寄り添った幅広いDX支援を行っています。

実績

クラウドソリューションの導入実績は1,000社以上に及び、豊富な開発実績とノウハウを蓄積。製造業や建設業などさまざまな業界に向けて支援を行っています。

建設業、製造業、教育機関など
大手企業を中心に多数導入



外部評価

日本マイクロソフトがパートナー向けに行うアワードで10年連続受賞。2023年は、セキュリティ分野の「Defend against threats with SIEM plus XDR」を受賞しました。

マイクロソフト ジャパン
パートナー オブ ザ イヤー



2014年から10年連続受賞

Microsoft Worldwide
Partner Award



日本初の4冠受賞

サービス

clouXion (クラウドジョン) は、Microsoft 365 を利活用するための当社のクラウドソリューションブランドです。「働き方改革」の具体的な課題解決のために生まれました。



clouXion 導入実績 **914社**
2023年8月時点



情報セキュリティのトータルソリューションを提供

巧妙化・多様化するサイバー攻撃への対策として、セキュリティ導入支援から、セキュリティシステムの運用監視を行うマネージドセキュリティサービス (MSS)、経験豊富な専門家によるCSIRT※1構築支援、企業の包括的なセキュリティを支援するコンサルティングなど、お客様の重要な情報資産保護や事業継続をサポートする幅広いサービスをワンストップで提供しています。

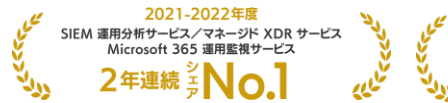
実績

数百を超えるエンタープライズのお客様にMSSを提供しています。自治体向けには12県405市町村に対して、総務省が推進を行う「自治体情報セキュリティクラウド」の構築・運用、MSSの提供を行っています。



外部評価

SBTのセキュリティサービスを多くの企業・組織にてご利用いただき、国内の各種市場調査において売上シェア1位を獲得しています。



「SIEM 運用分析サービス/マネージド XDR サービス」
「Microsoft 365 運用監視サービス」市場
ベンダー別売上金額シェア No.1 ※2



「SIEM運用サービス」市場
売上金額シェア No.1 ※3

サービス

セキュリティ監視センターにて、専門のセキュリティアナリストが24時間365日体制でお客様環境のセキュリティシステムやネットワークを監視し、サイバー攻撃や不正アクセスから守るMSSを提供しています。



セキュリティ監視センター

※1 「Computer Security Incident Response Team」の略語で、マルウェア感染や侵入などのインシデントが発生したときに対応するチームを指す。

※2：出典 ITR 「ITR Market View：エンドポイント・セキュリティ対策型/情報漏洩対策型 SOC サービス市場2023」

※3：出典 デロイト トーマツ ミック経済研究所 「マネージドセキュリティサービス市場の現状と展望 2023年度版」 (2023年6月発行) <https://mic-r.co.jp/mr/02800/>

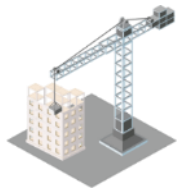


クラウド基盤によるデータ・AIの活用支援をワンストップで提供

2014年からデータ領域のビジネスを開始し、データプラットフォームの構築、BIツールを用いた分析・可視化、AI活用に至るまでクラウド基盤でのソリューションを提供します。導入支援から導入後の内製化、運用サポート等、ワンストップで幅広い支援が可能です。データサイエンティストによるコンサルティングを通じて、お客様のDX化に貢献します。

強み

Azure Machine Learning、Microsoft Power BI等、Azureを用いたクラウド基盤での支援を得意としています。特に製造業を中心に、機械学習を用いたシステムや予測モデルの構築など、データに基づきお客様のビジネスを支援します。



外部評価

データ領域における評価として、マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー 2021にてPower Apps & BIを受賞。2023年、Dynamics 365やPower Platformでの課題解決の実績が認められ、トップエンジニアアワードを受賞しました。



サービス

社内利用やお客様との実証を通じて、生成AIの回答精度を高めるコア技術を開発。この技術をサービスに反映し、日々の業務で活用できる生成AIサービス「dailyAI」をリリースしました。あらゆるビジネスシーンに必要な機能を兼ね備えた生成AIサービスとして、お客様の生産性向上に貢献します。

daily AI



情報革命で人々を幸せに ～技術の力で、未来をつくる～

SBTグループは持続可能な社会の実現に向け、
事業・企業活動を通じて、さまざまな社会課題の解決に取り組みます。

基本方針



ICTサービスの提供によるイノベーション創出で、
お客さまの価値創造に貢献します。



株主の期待に沿えるよう、成長への挑戦を忘れず、
透明で公正な情報開示をします。



従業員のやりがいと誇り、個性がいかされ、
性別や年齢、国籍等にとらわれない、平等で多様性
に富み、チャレンジできる環境を大切にします。



汚職や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗を防止し、
取引先との公正な取引関係を築きます。



気候変動対応に向けて、温室効果ガス排出量の削減や
エネルギー効率の向上、水などの資源利用の削減
及び効率化、生物多様性への配慮などに取り組みます。



次世代育成、情報セキュリティの強化、
災害対策・復興支援などを通じて、
豊かな情報化社会の実現に貢献します。



国際規範や各種法令・ルールを遵守し、
誠実な事業活動を行います。



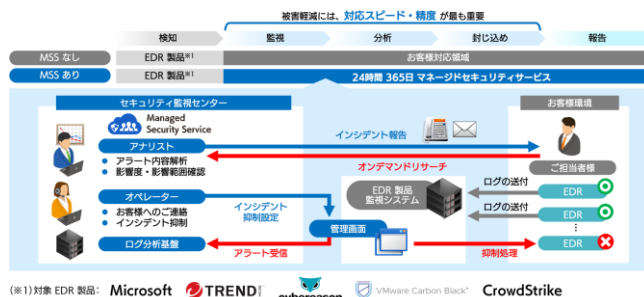
2024/03/12 CDP気候変動2023でリーダーシップレベル「A-」に初選定



国際的な非営利団体CDPIにより、「気候変動質問書2023」においてリーダーシップレベル「A-（Aマイナス）」に選定されました。気候変動に対する目標とその達成に向けた取り組みが評価されたもので、「A-」選定は当社として初となります。

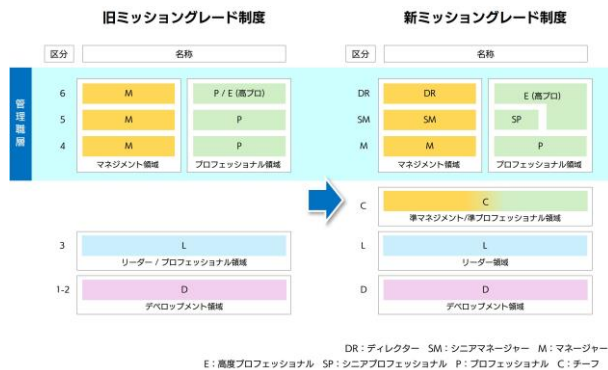
当社では、TCFDの提言にもとづいた気候変動に対する開示情報の充実及びその透明性を重視した取り組みを行っています。今回「気候変動質問書2023」において、温室効果ガスの排出削減に向けた低炭素製品の活用、事業戦略やその目標及び実績、シナリオ分析の導入、またリスク管理等の項目で高い評価をいただきました。

2024/03/14 【導入事例】 堀場製作所が EDR 製品のセキュリティ監視サービス「MSS for EDR」を採用



株式会社堀場製作所に EDR 製品のセキュリティ監視サービス「MSS for EDR」を採用いただきました。サイバー脅威に対する取り組みを推進するなか、業務負荷が高くセキュリティ監視体制に課題を持たれていましたが、EDR と社内ネットワークのセキュリティ機器を組み合わせた監視により、総合的な分析に基づいた適切な対処が可能になりました。平時はメンテナンスのみの対応となり、本来の業務に集中できる環境が整ったことに加え、アラート解析や過検知の有無・影響度を判断したうえで必要に応じて対策案まで含めた通知が届くことにより、判断の精度・効率ともに向上したと評価をいただいております。

2024/03/27 2024年4月より新人事制度を導入 基本給は平均5%のアップ



当社は、2024年4月1日より等級、評価、報酬、教育制度を改定した新しい人事制度を導入しました。新制度では、組織統合を行い1組織が持つ機能を増やしながらも、社員一人ひとりが高い専門性と最大限のパフォーマンスを発揮できるよう、主に管理職層の裁量と役割を見直しました。ラインマネジメント職は組織運営へ集中し、プロジェクト推進におけるマネジメントの役割を拡大したプロフェッショナル職を増強することで、管理職層による人材マネジメントの適正化を図り、組織全体としてより高い付加価値を創出します。また、円滑な組織運営やプロジェクト遂行を行うため、管理職層を補佐するチーフ職を新設しました。各職位についての役割や報酬テーブルを再設計し、基本給はベースアップと定期昇給と合わせて平均5%アップしました。今後も、会社の成長の源泉である、社員一人ひとりの成長の促進や、働きやすい環境を構築するための人事制度の改訂や人事施策に取り組み、企業価値の向上に努めてまいります。

2024/04/08 ベトナムでオフショア開発およびICTソリューションの提供を行うNTQへ出資



ベトナムでオフショア開発およびICTソリューションの提供を行うNTQ Solution JSC. (以下 NTQ) に対し、優秀な技術者の確保を主な目的とした出資を3月31日に行いました。NTQは、2011年6月ベトナム・ハノイに設立され、ITサービスプロバイダーとして日本、そしてグローバルに事業を展開しています。本社を置くベトナム以外にも、日本、韓国、香港、アメリカ、ヨーロッパに拠点を設け、現在、従業員数およそ1,300名（内、エンジニア900名）が所属しており、2026年には従業員数3,000名（内、エンジニア2,500名）への拡大を見込んでいます。2021年より3年連続でベトナムICT企業トップ10に選出され、サービス開発や新しい技術の研究を積極的に行うなど、成長が著しい企業です。今後、両社のビジネスをより一層加速させるため、さらなる信頼関係を構築し、協力していくことに合意しました。

働く人

SBテクノロジー社員数 (連結)

1,447名

24年度新卒 (連結)

89名

平均年齢

38.3歳

働き方

生産性向上による残業削減

42時間 → 26時間

(2015年度)

1人あたり有給消化率

68%

テレワーク実施率

62%

育休・女性活躍

育休取得率

男性 61.5% 女性 100%

女性管理職比率

7.6%

技術人員

職種比率

7 : 2 : 1

(技術) (営業) (管理)

開発パートナー

約 2,500人

成長支援

能力開発休暇の活用

取得人数 245人 取得総日数 556日

PMP保有者

156人

CBAP保有者

53人

PMP (Project Management Professional)

幅広い知識とプロジェクトマネージャーとしての実務経験が求められるプロジェクト管理の国際標準資格。SBテクノロジー技術社員の約2割が保有。

CBAP (Certified Business Analysis Professional)

5年以上の経験豊富なビジネスアナリシス実務経験者を認定する資格試験。

資料留意事項

1. 本資料に記載した各種グラフ内に表示している数値については、その端数処理の関係から、各種グラフ内の数値と決算短信に記載した数値に乖離が出ている場合があります。
2. 2022年3月期より「新収益認識に関する会計基準」を適用しており、2021年3月期以前の売上高については主な影響であるノートンビジネスを過去から純額表示にした未監査の参考値を記載しております。

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、及びその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、様々なリスク及び不確実性が内在しています。実際の業績等は経営環境の変化等、様々な要因により、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料は当社グループの業績や事業進捗等に関する情報提供を目的としており、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

本資料に掲載されている会社名、ロゴ、サービス名等は、当社、当社グループ会社、または該当する各社の商標または登録商標です。

情報革命で人々を幸せに

～ 技術の力で、未来をつくる ～

＝ SB Technology